



香川県立高松中学校



香川県立高松高等学校



香川県立高松高等女学校



玉翠会報

(第 45 号)

発行所 高松市番町三二
高松高等女学校内
香川県立高松高等学校玉翠会

発行 間 島 賢 治
責任者 石 田 印 刷 (有)

印刷所 石 田 印 刷 (有)

香川県立高松高等学校は 令和5年に130周年を迎えました

香川県立高松高等学校は、1893年(明治26年)に開校した「香川県尋常中學校」(旧制中学校)と「香川県高等女學校」を前身とする。1948年(昭和23年)の学制改革(六・三・三制の実施)に伴い、それぞれ「香川県立高松高等学校」(男子校)と「香川県立高松女子高等学校」となる。翌1949年(昭和24年)に両校が統合され、男女共学となり、2023年(令和5年)に創立130周年を迎えた。現在の校地は主に旧・高等女学校のものを継承している。

創立130周年記念祝賀会開催

開催日時：令和6年8月10日(土) 16時～

開催場所：JRホテルクレメント高松 3F

参加費：9000円(令和2～6年卒5000円)

申し込み期限：6月30日(事前申込が必要)

(詳しくは2ページをご覧ください)

130周年記念誌 デジタルブック完成

玉翠会公式ホームページ
(<https://gyokusui.org/>)

から閲覧可能です。
詳しくは2ページをご覧ください。



玉翠会公式
ホームページは
こちら

新型コロナウイルス感染症の影響が最も大きかった令和5年卒業の高塚さんが、コロナ禍前の状態に回復しつつあった時期に「再構成」をテーマにデザインした、このシンボルマークには「これからは高松内であれ、外の社会であれ何かしらの変化が起きて、きっと高松も再構成をしながら変わっていくと思うけれど、紡いできた歴史や精神を大切にしたい」という思いが込められている。



130周年シンボルマーク
作成者 令和5年卒 高塚絢湖

玉翠会主催 高松高等学校 創立130周年記念事業の御案内

創立130周年記念祝賀会



開催日時：令和 6 年 8 月 10 日 (土) 16 時～18 時

開催場所：JR ホテルクレメント高松 3階 飛天・玉藻

参 加 費：9,000 円 (令和 2～6 年卒 5,000 円)

参加申し込みは同封のコンビニ・郵便振込用紙で参加費をお振り込みいただくと、申込完了です。公式ホームページ (<https://gyokusui.org/>) から、申し込みが可能です(クレジットカード決済のみ)。「130 周年記念事業」のバナーから「祝賀会申し込み」のサイトに入ってお申し込みください。

なお、当日のお申し込みは承っておりません。必ず事前にお申し込みください。
お申し込みの方には、開催の 1～2 週間前に参加証を送付いたします。当日忘れずにご持参ください。

【申し込み方法】 同封の振込用紙をご利用ください。

【申し込み期限】 令和 6 年 6 月 30 日



祝賀会
申し込みはこちら

創立130周年記念誌

玉翠会ホームページ (<https://gyokusui.org/>) に掲載されております。

「香川県立高松高等学校創立130周年記念事業」
のバナーから、

「記念誌デジタルブック」にお進みください。

閲覧無料

パスワード：takako130kinen



デジタルブックは
こちら





ご挨拶

玉翠会会長 間島賢治

「玉翠会報」発刊にあたり、会員の皆様におかれましては、日頃より当会の運営に関して多大なるご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

改めて高松高校の歴史を振り返ると、明治二十六年に香川県尋常中学校が設立され、同年進徳女学校が香川県高等学校と改称されて以来、時代の変遷とともに校名や所在地の変化もありましたが、昭和二十四年の学制改革により両校が香川県立高松高等学校として統合され、さらに定時制・通信制課程を併設して今日に至っています。独立自主、文武両道の理念は現在も後輩たちに脈々と受け継がれており、現在までの卒業生は五万五千余名に達し、国内はもとより世界においても各分

野で活躍されています。また、同窓会組織としても東京・関西・東海・岡山・徳島など各地で設立され、毎年総会が開催されています。

さて、高松高校創立一三〇周年記念の最終行事ともいえる第三十六回目の「高松芸術祭」が、昨年十二月十三日から三日間開催されました。玉翠ホールにて「高松ハートフルギャラリー」、また、十四日にはプラザにて「高松ハートフルコンサート」が開催されました。四年ぶりに一般の方も参加された「創立記念第九演奏会」は、ゲストに豪州ブリスベンから St. Peters Lutheran College の高校生約五十名の弦楽団、客演指揮者に神戸フィルの朝比奈千足氏をお迎えした素晴らしい演奏でした。地元マスコミからの取材も多くあり、



ご挨拶

高松高等学校長 中筋功雄

新緑の候、玉翠会員の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より本校の教育諸活動にご理解とご支援を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

さて、皆様もご存じの通り、本校は昨年度に創立一三〇周年を迎え、一連の記念行事を無事に行うことができました。玉翠会には多

大なご協力とご支援を賜りましたこと、学校を代表して感謝申し上げます。個人的には、記念行事を通して卒業生の方とお話しさせていただく機会が多く、本校の歴史の重厚さや本校へお寄せいただく期待などをより深く実感する場面が少なくなかったことが、記念行事を終えての最大の収穫でした。

締めくくりにふさわしい行事となりました。

また、玉翠会の記念行事として、昨年十月に創立一三〇周年記念誌を今回からデジタル版として玉翠会ホームページに掲載しました。そして、新型コロナウイルスの影響で一年遅れにはなりましたが、祝賀会をいよいよ本年八月十日に開催します。創立一三〇周年記念実行委員会メンバーを中心に、皆様にお呼びいただけるように計画をしております。多数の玉翠会員の皆様にご出席いただき、その後、各学年単位での懇親会を開催いただき旧交を温めて頂ければ幸いです。合わせて祝賀会会場近隣のサンポート高松地区の開発状況を、県外の皆様は是非ご覧ください。

創立一三〇周年記念行事は、実行委員会の皆様、高松高校ご担当教員の皆様の多大なるご尽力のお陰で実施できます。皆様に、心よりお礼を申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様の益々のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。

ところで、卒業生と言えば、本校は令和四年度から『人道プログラム』という活動を三年間の計画で進めています。これは、『命のビザ』で有名な杉原千畝氏のご功績を軸に、人道や人権、世界平和といったテーマについて高校生の視点で掘り下げていく活動です。第二次世界大戦中、リトアニア駐在の外交官だった千畝氏が、隣国ポーランドからナチスドイツの迫害を逃れてきたユダヤ系避難民に対して、二千枚に及ぶビザを発給した結果、約六千人の避難民が日本を経由して海外へ逃れることができたという話は、千畝氏の妻である

幸子氏が記した書籍でようやく日本でも知られることとなりました。この幸子氏が本校昭和六年の卒業生であることや、千畝氏が家族の安全を懸念しつつもビザを発給するに至ったのに幸子氏の後押しがあったと言われていることなどから、本校ではこの出来事をご夫妻のご功績と捉えるとともに、生徒が自分ごととして考える取組としています。

一昨年度は、福山市や神戸市などを訪問してユダヤ系避難民の足跡を辿ったり、千畝氏の母校である愛知県立瑞陵高校を訪問して生徒同士との交流会を実施したりしました。昨年度は、東京のリトアニア大使館を訪問したり、ご夫妻のお孫さんである杉原まどか氏を文化祭にお招きして講演会を開催したりしました。そして最終年度の今年度は、夏休み期間にリトアニア・ポーランド本国への渡航を予定しています。当初計画していたイスラエル訪問からの変更や渡航費の高騰など予期せぬ事態も起こっていますが、生徒の発案で自分の出身中学校へ出向いて中学生との交流活動を開催するなど教員の想定外の展開も見せてきています。手探りで始まった活動でしたが、現在では約九十名の生徒が参加し、高校生持ち前の発想力や行動力を発揮して活動の輪を広げています。すでに報道等でも何度か取り上げて頂きましたが、今後も玉翠会の皆様にご報告をお届けできるよう、活動の深化、充実を図っていきたく考えています。

結びになりますが、玉翠会の益々のご盛会並びに会員各位の今後のご健勝をお祈りし、あわせて本校への変わらぬご厚情を賜りますようお願いを申し上げます。ご挨拶といたします。

田中	安並	岩崎	平田	小倉	牧井	橋本	窪田	山田	藤澤	山下	香西	上田	江本	北村	稲葉	公文	亀井	川崎	市原	横井	川口	苦澤	繁光	定通部会	中村	戸田	大久保	桐谷	西本	桐石	大内	津川	向井	甲田	佐藤	磯野	田村	戴内	森岡	
夢生	天音	沙南	悠登	和揮	幸一	美保	友哉	武範	理絵	泰啓	辰也	慶子	愛	成子	沙織	陵二	啓三	充大	武	美里	光	昭一	敏男	研	藤澤	友祐	優音	久保匠	陽菜	真梨	奈月	航輝	健人	拓弥	康平	哲人	優一	祐一	健二	純
嶋田	児玉	山口	北原	余島	白井	土居	福	久保麻	山田	植村	白石	窪田	坂東	林	上田	細井	正見	青木	竹下	野近	美佐子	住吉	川西	康良	八木	廣瀬	白石裕	新原	濱岡	香西	藤田	木下	黒部紗	鴨谷真	納田	唯	今井	金倉	石原	
優希	凜音	智代	麻由	彩華	舞	春美	唯	依子	雄二	雄司	英二	真	一興	昇	慶子	亮	昭仁	鈴子	紀子	佐子	薫	榮司	大麻	野中	翔夢	心笑	一郎	広隆	千尋	彩音	希	亜湖	望	裕崇	俊博	淳一	慶忠	斎藤		
平田	藤沢	岩崎	橋	坂本	真鍋	宮脇	中田	西	大西	渡邊	後藤	池内	吉岡	青木	島田	上村	木戸	香西	乙武	帶包	大川	松本	悦治	大勝	安川	渡邊	山口	田村	牧	富永	寒川	横井	野口	賀須井	笹島	山下	千葉	直樹		
陽暉	和弥	瑛士	良光	凉子	美葵子	秀人	隆太	雄太	隆太	裕子	敏子	一治	大輔	和也	龍	真二	志保	悦子	祥子	幸子	誠	修	川下	日勝	結彩	翔真	柊人	美柚	直樹	大成	涼亮	愛心	健二	正豊	大輔	一孝	直樹			
池田	前川	溝口	近藤	權	宮本	山本	水谷	龜田	龜田	谷口	筒井	河田	泉川	奥中	武田	沖田	山崎	陶山	楨井	規人	大昇	田中	昌弘	岡田	愛	千切谷	飯	美樹	大西	青野	浅田	中井	川口	陶山	大下	妻鹿	向井			
裕太	舜之介	賢信	静菜	日豊美	孝利	あやめ子	真彩	真実	真実	絢香	周郎	晃典	祐理子	榮子	榮子	フサエ	豊子	睦生	伸一	規人	和昇	見	久	幸夫	愛	牛田	千切谷	遼太郎	足立	晴日	光起	歩美	純作	貞貴子	真樹	匡	健二郎			

令和6年度 玉翠会事業計画

月	日	曜	事 業 名	会 場
4	4	木	会計監査	5 階会議室
4	10	水	玉翠会 会長・副会長会	1 階会議室
4	20	土	玉翠会 理事会・代議員会	5 階玉翠ホール
			玉翠会 懇親会	リーガホテルゼスト高松
5	18	土	東海玉翠会総会	名鉄グランドホテル
5	20	月	玉翠会報 第45号発行	
5	27	月	玉翠会 教育基金運営委員会	校長室
6	8	土	東京玉翠会総会	東京プリンスホテル「鳳凰の間」
6	22	土	徳島玉翠会総会	ザ・グランドパレス徳島
8	10	土	創立130周年記念祝賀会	JR ホテルクレメント高松
9	7・8	土・日	文化祭 (玉翠庵お休み処：H7卒主管)	高松高校
10	26	土	関西玉翠会総会	アートホテル大阪ベイタワー
10			玉翠グローバルアカデミー(GGA) 先輩講演会	
11	17	日	岡山玉翠会総会	アークホテル岡山
2			玉翠会 会長・副会長会	1 階会議室
3	6	木	卒業式	体育館

創立130周年記念事業準備委員会(祝賀会)

令和5年度 玉翠会事業報告

月	日	曜	事 業 名	会 場
4	12	水	会計監査	5 階会議室
4	24	月	玉翠会 会長・副会長会	1 階会議室
5	20	土	東海玉翠会総会	名鉄グランドホテル
5	27	土	玉翠会 教育基金運営委員会	5 階会議室
			玉翠会 理事会・代議員会	5 階玉翠ホール
			玉翠会 懇親会	JRホテルクレメント高松
7	7	金	第1回玉翠グローバルアカデミー(GGA) S55卒 田村正之氏 (日本経済新聞社編集委員)	5 階玉翠ホール
7	8	土	玉翠会報 第44号発行	
7	8	土	東京玉翠会総会	オンライン開催
9	9・10	土・日	記念文化祭(玉翠庵お休み処：H6卒主管)	高松高校
9	23	土	徳島玉翠会総会	ザ・グランドパレス
10	28	土	関西玉翠会総会	リーガロイヤルホテル大阪
10	31	火	創立130周年記念誌発刊	玉翠会ホームページに デジタル版掲載
10	31	火	第2回玉翠グローバルアカデミー(GGA)記念先輩講演会 S55卒 池田豊人氏(香川県知事)	体育館
11	19	日	岡山玉翠会総会	アークホテル岡山
2	2	金	玉翠会 会長・副会長会	1 階会議室
3	5	火	卒業式	体育館

創立130周年記念事業準備委員会(記念誌発刊・祝賀会) 2/22

令和6年度 玉翠会会計収支予算書

〈収入の部〉

科 目	金 額
玉 翠 会 会 費	7,000,000
玉 翠 会 入 会 金	695,000
受 取 利 息	0
雑 収 入	0
収 入 の 部 合 計	7,695,000

〈支出の部〉

費 目	金 額
本 部 運 営 費	9,030,000
支 部 運 営 費	1,100,000
卒 業 生 記 念 品 料	140,000
退職積立預金繰入支出	200,000
創立百周年記念玉翠会教育基金計繰入支出	2,000,000
創立130周年記念事業準備金	1,000,000
予 備 費	200,000
支 出 の 部 合 計	13,670,000
当年度収支差額	△ 5,975,000
前年度収支差額	32,104,274
次年度収支差額	26,129,274

令和5年度 玉翠会会計収支決算書

〈収入の部〉

科 目	金 額
玉 翠 会 会 費	6,657,937
玉 翠 会 入 会 金	541,200
受 取 利 息	368
雑 収 入	202,652
収 入 の 部 合 計	7,402,157

〈支出の部〉

費 目	金 額
本 部 運 営 費	3,999,682
支 部 運 営 費	562,160
卒 業 生 記 念 品 料	131,505
退職積立預金繰入支出	200,000
創立百周年記念玉翠会教育基金計繰入支出	2,000,000
予 備 費	0
支 出 の 部 合 計	6,893,347
当年度収支差額	508,810
前年度収支差額	31,595,464
次年度収支差額	32,104,274

令和6年度 創立百周年記念玉翠会教育基金収支予算書

〈収入の部〉

科 目	金 額
玉翠会会計より繰入収入	2,000,000
受 取 利 息	0
雑 収 入	0
収 入 の 部 合 計	2,000,000

〈支出の部〉

費 目	金 額
奨 学 金	1,920,000
教 育 活 動 費	100,000
支 払 手 数 料	10,000
支 出 の 部 合 計	2,030,000
当年度収支差額	△ 30,000
前年度収支差額	22,415,257
次年度収支差額	22,385,257

令和5年度 創立百周年記念玉翠会教育基金収支決算書

〈収入の部〉

科 目	金 額
玉翠会会計より繰入収入	2,000,000
受 取 利 息	276
雑 収 入	30,687
収 入 の 部 合 計	2,030,963

〈支出の部〉

費 目	金 額
奨 学 金	1,920,000
教 育 活 動 費	0
支 払 手 数 料	6,820
支 出 の 部 合 計	1,926,820
当年度収支差額	104,143
前年度収支差額	22,311,114
次年度収支差額	22,415,257

令和6年度 甲子園出場記念教育基金収支予算書

〈収入の部〉

科 目	金 額
受 取 利 息	0
収 入 の 部 合 計	0

〈支出の部〉

費 目	金 額
教 育 活 動 費	400,000
支 払 手 数 料	550
支 出 の 部 合 計	400,550
当年度収支差額	△ 400,550
前年度収支差額	6,410,615
次年度収支差額	6,010,065

令和5年度 甲子園出場記念教育基金収支決算書

〈収入の部〉

科 目	金 額
受 取 利 息	102
収 入 の 部 合 計	102

〈支出の部〉

費 目	金 額
教 育 活 動 費	0
支 払 手 数 料	550
支 出 の 部 合 計	550
当年度収支差額	△ 448
前年度収支差額	6,411,063
次年度収支差額	6,410,615

令和6年度 創立130周年記念事業収支予算書

〈収入の部〉

科 目	金 額
繰 入 収 入	1,000,000
会 費 収 入	5,650,000
受 取 利 息	0
雑 収 入	200,000
収 入 の 部 合 計	6,850,000

〈支出の部〉

費 目	金 額
記 念 誌 作 成	0
祝 賀 会	5,736,660
予 備 費	104,595
支 出 の 部 合 計	5,841,255
当年度収支差額	1,008,745
前年度収支差額	362,358
次年度収支差額	1,371,103

令和5年度 創立130周年記念事業収支決算書

〈収入の部〉

科 目	金 額
受 取 利 息	10
収 入 の 部 合 計	10

〈支出の部〉

費 目	金 額
記 念 誌 作 成	1,088,400
祝 賀 会	0
予 備 費	38,610
支 出 の 部 合 計	1,127,010
当年度収支差額	△ 1,127,000
前年度収支差額	1,489,358
次年度収支差額	362,358

令和六年度 理事会・代議員会開催される

創立百三十周年記念事業の最後を飾る本年八月十日の祝賀会に向け準備が進む。

理事会・代議員会は四月二十日(土)午後二時半より高松高校五階玉翠ホールにて百十四名の出席をもって開かれた。



開会に先立ち、昨年ご逝去なされた百十四名の方々のご冥福をお祈りし、全員で静かに黙祷を捧げた。

今年度は兼近由賀里理事(平成四年卒)の司会により進められた。初

翠会より多田譲治会長、徳島玉翠会より長尾哲見会長にご挨拶いただいた。どの地区も若い会員に参加してもらうことに苦慮されているようであった。

続いて中筋校長から、玉翠会の皆様に多大なるご支援をいただいていることへの感謝とともに、このことを生徒たちに折に触れて伝えることで将来の玉翠会員として、地元や各地区の玉翠会を盛り上げていく人材を送り出したいとの挨拶があった。また挨拶の中には、コロナ禍が明けた今、生徒たちの経験値を増やしたいと考えており、その一つとして人道プログラムの中でリトアニアやポーランドへの訪問を計画しているとお話があった。

めに間島会長から、創立百三十周年記念事業について、昨年度のハートフルコンサートでは、本校生徒らに加え、オーストラリアの高校生と共に神戸フィルハーモニック音楽監督の朝比奈千足先生の指揮で第九の演奏が披露されたこと、また昨年十月に記念誌が発行されたことが紹介された。また、今年の八月十日に開かれる祝賀会には、多くの方々にお声がけいただき、参加への協力をお願いしたい旨の挨拶があった。

次に東京玉翠

会より土田充事務局長、関西玉翠会より森泰蔵副会長、岡山玉



計ともに拍手で



承認された。(5P参照)

次に昨年度文化祭で玉翠庵を担当した平成六年卒の川西章弘氏が理事に選任され、役員改選については、昨年と同じメンバーで運営していくことが承認された。

続いて、今年度事業計画案、玉翠会会計等収支予算案も併せて承認された。

その後、創立百三十周年記念事業について、千切谷耕一郎氏(平成二年卒)より記念誌について、祝賀会実行委員長の荒木隆氏(昭和六十二年卒)より祝賀会についての報告と連絡があった。

玉翠会事務局からは会報の発行を五月二十日に予定していること、玉翠庵を今年度は平成七年卒主管でいただくことの連絡があっ

た。また、高松高校からは冊子で謹呈された記念誌の寄贈先等についての報告と徳島玉翠会からのご寄付で学校の放送機器が充実したことへのお礼が述べられた。

最後に佐藤

哲也副会長の閉会の言葉で理事会・代議員会を終了。場所をリーガホテルゼスト高松に移し、懇親会が和やかに開催された。



懇親会

令和 5 年 9 月 19 日

香川県立高松高等学校玉翠会 2023 年度文化祭事業 事業報告・決算報告書

2023 年文化祭事業委員会

1. 事業名
2023 年高松高校文化祭における御接待処「玉翠庵」の設営と運営
2. 事業目的
① 高松高校文化祭において玉翠会事業を開催することで現役高生への諸活動に対する玉翠会員の理解を広める。
② 高松高校文化祭への学外からの来訪者に飲料のおもてなしをする。
③ 過去の文化祭の資料をパネル展示することにより高松高校の歴史を内外に紹介する。

3. 事業担当者
委員長 川西章弘(H6年)
委員 【H6 年】山上佳樹、山下晃弘、伊藤宏介、木村幸司、嶋弘輝、中原大道、市原登紀子、大澤真由美、豊嶋健史、有友裕裕、嶋宏実、飯間聡子、有友明美、小川大輔、和田将弘、明石京子、佐藤有花
【H5 年】吉川明人、山下晶子 【H7 年】高木大輔、真鍋康正、串田えみ

4. 実施日時
令和 5 年 9 月 9 日(土) 9 時 00 分～15 時 00 分
令和 5 年 9 月 10 日(日) 11 時 00 分～15 時 00 分

5. 実施場所
香川県立高松高等学校 2 階南西 206 教室

6. 玉翠庵来場者数

	9 日(土)	10 日(日)
9 時～10 時	67	-
10 時～11 時	120	-
11 時～12 時	73	60
12 時～13 時	82	71
13 時～14 時	29	61
14 時～15 時	13	49
合計	384	241

2 日間の来場者数合計 625 名 (前回 2019 年の来場者数合計 1,008 名)

【参考:学校による文化祭来場者推計】

1 日目:675 組 2 日目:1,113 組 合計:1,788 組 (前回 2019 年の来場者数合計約 2,500 名)

※今年は 1 グループにつき 1 部のパンフレット配布のため、組数としてカウントされている。

7. 決算報告 別添による

8. 所見

2019 年以来、4 年ぶりの玉翠庵開催となり、初日午前中から多くの皆様に来場いただいた。今回、新型コロナウイルス対策として、従来は紙コップで冷茶を提供していた方法を改め、ミニペットボトルで冷茶を提供した。それにより、衛生面のみならず、前回課題となっていた来場者に対する迅速な飲み物の提供が可能となった。ただし、これにより飲料の費用が増加した。来場者数は前回と比較し、減少している。2 日目の運営時間が短縮された影響もあるが、高卒卒業生の方々の来場が以前よりも減少している可能性がある。一方で、卒業生以外にも、高卒現役生や中学生の他、他校の卒業生などの来場もあり、高卒の雰囲気を感じて良かったという感想も聞けた。今後の継続のためには、来場者属性の変化に対応した展示内容の工夫が必要であり、今後の課題としていただきたい。また玉翠庵に長時間滞在し、見知らぬ来場者に声をかけるなどの行為を行う不審者も見られ対処に苦慮したため、こちらも次回対策が必要である。

運営面では、県内在住の H6 卒業生が集まり、前日の準備から当日の運営、撤収まで協力で行うことができた。玉翠会幹部や事務局の皆様にも大変ご尽力いただいた。この場をお借りして御礼申し上げます。以上

支部会だより



ホームページ



第42回総会準備幹事会光景

東京玉翠会では、第四一回総会を昨年七月八日にオンラインにて「発見！東京玉翠会『CHANGE CHANCE』」をテーマに開催いたしました。

オンラインによる東京玉翠会総会も、第三九回以降、三回目となりました。第四一回については、新型コロナウイルスの五類移行を受け、リアル開催を求める声も多く聞かれたところでしたが、玉翠会という大切な場で、誰一人感染をさせてはならないと考え、引き続きのオンライン開催とさせていただきますました。東京玉翠会のオンライン総会は、会長、ご来賓の方々の御挨拶や、周到に用意されたコンテン

ツをリアルタイムで配信しながら、他方で、参加者同士の会話を可能にするというもので、わいわいがやがや話しながらも、同じ時間を共有し、情緒を交換できるという、リアルな同窓会さながらの代物です。

当日は、来賓の皆様方には、テレビ中継の如く日本各地をつないでご参加いただき御祝意を頂戴することができました。さらには、コンテンツとして、海外で活躍する卒業生の近況報告をリアルタイムで実施することができた方もありました、様々な世代の髙高卒業生が、世界中の様々な場所で活躍する様子を具に知ることができました。

また、パソコン（スマホでも）とネットワーク環境さえあれば、どこからでも参加できるというオンライン開催の利点を生かし、幾多の学年が居酒屋など思い思いの場所に集合し



第41回総会本部席集合写真

て総会に参加するなど、期せずして、ハイブリッド同窓会が実現しました。本総会準備の幹事会も会場とオンラインを併用するハイブリッド形式で行いましたが、このような参集の仕方は、今後のレガシーとなっています。困難な時代ではありましたが、時代がCHANGEしていくことを、新たなCHANGEとすることができ、改めて髙高高校の紐帯の強さを実感することができました。

本年、第四二回総会は、いよいよ五年ぶりに、ホテル会場でのリアル開催で実施します。やはり、同窓生と顔を合わせて、懐かしい讃岐弁で存分に語りたいという思いに込めるべく、「さあ、会って話そ！」をテーマに準備を



メールアドレス

会長 入倉 憲二
(昭和四十四年卒)

今年の東海玉翠会第十五回総会・懇親会は五月十八日に開催を予定しております。昨年は四年振りの開催ということもあり、参加された皆さんは話も弾み楽しんでいただけたようです。

当会は、運営するマンパワーや会計上の制約もあって、会員が顔を合わせる唯一の機会が総会・懇親会ですので、いかに楽しんでいただけるかに（しかも費用をかけずに）腐心しております。他支部のようにホームページを開設するという案もありますが、皆さんに見ていただくには、単に開設しただけでは駄

進めております。幹事会にも前年にも増して多くの方が会場参加下さり、以前の活気が戻って参りました。髙高には、それまで知らない者同士でも、互いに同窓と知るやいなや全力で互いを応援するという強い絆があります。東京玉翠会の場合、世代をこえた偶然の出会いはあることを今から楽しみにしている次第です。

どんなに時代が変わろうとも、変わらない伝統を守るべく、東京玉翠会は、時代に適合しながらしなやかに変化していきます。今後とも東京玉翠会を宜しくお願い致します。

第四一回幹事団代表

厚井 久弥(平成十年卒)

目で、ある程度定期的な掲載内容のアップデートも必要となり、なかなか踏み切れずおります。経験値を持っておられる支部の方々からのお知恵を拝借できれば幸いです。

さて、二〇二三年は我が母校の創立一三〇周年にあたり、今年の八月十日には記念祝賀会を開催予定とのことで、当会の会長・副会長にもお誘いをいただいております。一二〇周年記念祝賀会にも参加させていただきましたが、今回も喜んで参加させていただきたいと思っております。毎年の各支部の総会・懇親会ではお目にかかれな方との思わぬ出会いを楽しみにしております。地元香川だけでなく、全国にいる多くの同窓生が集える場として期待しております。

最後になりましたが、全国の玉翠会会員の皆様のますますのご健康とご活躍を心から祈念申し上げます。



第三十回 二〇二三年 関西玉翠会総会・懇親会



ホームページ

京阪神在住の高女・高中・高卒卒業生の同窓会である「関西玉翠会」(樋口順一会長)の総会を、二〇二三年十月二十八日(土) リーガロイヤルホテル大阪で開催しました。

今年は【なんしゅん!?】二〇周年記念総会に来まう! KANGYOKU220 ヽ高松高校創立一三〇周年 玉翠会京阪神支部結成六十



ホームページ



会長 長尾 哲見
(昭和四十四年卒)

昨年は母校創立一三〇年の佳節を迎え、九月には記念文化祭、十月の記念式典、十二月の記念第九演奏会の開催、さらには記念誌の発刊と佳節を寿ぐ事業が開催された事を喜んでおります。また、今年は八月十日には記念祝賀会が開催される事も楽しみにしております。

周年 関西玉翠会創立三十周年」を総会開催テーマとし、多くの方に参加していただきたいという気持ちを込めて案内させていただいた結果、九十年代から大学生までの約二二〇人の参加人数となりました。

我々平成四年卒幹事団は、三十二年前の旧校舎と新校舎の両方で高校時代を過ごすという貴重な経験をしました。記念総会ということで、真っ先に思い浮かべたのが旧校舎でした。学び舎には必ず廊下があり、生徒であった私たちの記憶の中にも廊下があります。私たちをつないでいく廊下の中で、旧校舎の廊下を時代の懸け橋としての象徴として、旧校舎の廊下のイラストを、案内状・会報の表紙としました。明治から令和へと続く長い襷をこれからもしっかりと繋いでいってほしいと思います。

総会では、樋口会長の「久しぶりにこれだけの人数が集まってうれしい」との挨拶をはじめ、玉翠会の間島賢治会長・副会長・玉翠会支部幹部の皆様、母校の中筋功雄校長や卒業生である池田県知事も来賓として出席され

徳島玉翠会も昨年は発足三十年の佳節の総会を開催出来、本部からは間島会長、東京支部の渡辺会長、東海支部の入倉会長、関西支部の高木副会長、岡山支部の多田会長、母校からは中筋校長もご臨席を賜り、ご挨拶も頂き心から感謝しております。

総会は恒例の一分間スピーチを始め発足三十年間のクイズや三十年皆勤賞授与など楽しく和やかな雰囲気で開催され、最後に校歌斉唱で終わりました。

コロナ禍で三年間開催出来ていなかった事もあり、参加者は一時よりは少なかったもの

ました。池田県知事にはテーマである「なんしゅん!?」ネタもお話いただきありがとうございます。総会の途中では多少の段取りの悪さが見えましたが、全体の雰囲気としては良かったとの評価をいただいたと感じております。

懇親会では、リーガロイヤルホテル大阪のお料理をいただきながら、同級生によるピアノ演奏とともに、高高現役書道部のパフォーマンスをご覧いただいたり、最高齢者の先輩のお話&「ここは讃岐か」の合唱、で前半を終了しました。後半は、随所で鳴らしていた高高的チャイムで再開し、多くの高生が利用した瓦町駅周辺の変遷の映像を観ていただきながらの歓談。そして同級生によるマジックショーです。完全に会場全体を支配してましたネ。てじな一にゃ!最後のイベントは、高高や香川県にまつわるクイズ大会です。十五問用意した勝ち残りクイズは、ひっかけや難問が多く、最後まで残った三名の方々には敬意を表します。

会の締めくくりは、恒例の校歌斉唱です。

のやはりリアルな会合の良さを皆が実感できたと思います。

今年の徳島支部の総会はコロナ禍以前に戻り、六月二十二日午後一時から徳島グラウンドパレスで開催いたします。徳島にご縁のある方は是非ともご参加頂ければ幸いです。

また、総会では八月十日高松での記念祝賀会には徳島からも多数の参加を呼び掛けたいと思っています。

最後になりましたが玉翠会の益々のご発展と会員のご健勝と母校の益々のご発展を祈念してご挨拶とさせていただきます。

会場一体となって声高らかに歌うのはとても気持ちのいいものでした。あつという間の三時間半。二二〇人もの世代を超えた交流の実現ができ、とても安堵した瞬間でした。

今回の総会に参加していただきました皆様、年会費・協賛金・広告などをいただきました皆様、ご協力頂きました香川県大阪事務所・玉翠会事務局の皆様、関西玉翠会の会長・副会長・常任幹事長・常任副幹事長・常任幹事・年次幹事の皆様、会報アンケートにご協力頂きました同級生・当日お手伝いしてくれた同級生の皆様、本当にありがとうございました。

次回は、二〇二四年十月二十六日(土)にJR弁天町駅前の「アートホテル大阪ベイクワ」で開催予定です。是非再会いたしましう!

(二〇二三年度 関西玉翠会

平成四年卒幹事一同)





ホームページ



会長 多田 譲治
(昭和四十四年卒)

この四年間は、新型コロナ感染症の蔓延にて、国内はもちろん世界中で様々な制約を受け、普通通りがいかに大切かをいやというほど感じさせられました。昨年五月に感染症法第五類となり、少しずつ人々の動きが活発になってきましたが、それでも完全に終息したわけではなく、ある程度の感染対策をしながらの行動をとらざるを得ない今日この頃です。

岡山玉翠会は、令和二・三年はコロナ禍のため総会・懇親会開催を見送り、令和四年はアルコール抜きでの開催となりました。昨年は創立四十五周年に当たり、本来なら第四十五回となるところ第四十三回として、十一月十九日にアークホテル岡山にてほぼ通常通りに開催することができました。玉翠会本部からは間島賢治会長と池田恵子副会長、母校からは中筋功雄校長と楨郁子教諭、関西玉翠会の岡健副会長、徳島玉翠会の長尾哲見会長、そして出射隆文前校長もお迎えし、会員は三十九名で計四十六名の参加となりました。総会前には、重井医学研究所付属病院院長 眞鍋康二先生(昭五十年卒)の「幸せに長生きするための生活習慣」というご講演を拝聴しました。特別な事は企画せず一分間スピーチのみでしたが、久しぶりの通常通りの開催でア

ルコールも入ったからでしょうか、会話も弾み、予定した四時間があっという間に過ぎてしまいました。

今年の総会は十一月十七日(日)にアークホテル岡山にて、通常通りの開催を予定しております。新型コロナウイルス感染症が第五類に移行されたとはいえ、その変異株の小流行はなお続いていますから、十分な感染対策を講じながらの開催にしたいと思います。

最後になりましたが、玉翠会会員の皆様のご健勝・ご多幸をお祈りいたしますとともに、岡山玉翠会は県内在住の方々だけに限った会ではありませんので、総会・懇親会にも気軽にご参加いただければと存じます。



第43回岡山玉翠会総会
令和5年11月19日 於アークホテル岡山

徳島玉翠会からの寄付金で放送機材を購入



徳島玉翠会より、学校へ三十万円のご寄付のお申し出がありました。教育環境の充実を図るため、放送機材(写真右側パソコン本体とGoPro)を購入させていただきました。また、寄付金の一部を在校生への奨学金として活用させていただきます。

ありがとうございました

○ 高中50会様
玉翠会へご寄付をいただきました。
玉翠会運営費として活用させていただきます。

投稿募集のお知らせ

玉翠会報では次のようなコーナーを設けたいと考えております。

- 1 「文集」・・・各学年で文集を出されましたら、一冊事務局あてへお送りくださると紹介させていただきます。
- 2 「卒業写真」・・・卒業写真とともに懐かしい高校時代を振り返り、その思い出、エピソードなどを綴っていただくコーナーです。
- 3 「芸芸欄」・・・会員の皆様方からお寄せいただいた作品を紹介させていただくコーナーです。随筆、詩、短歌、俳句など、ジャンルは問いません。

また、「あの先生は今!」「ただいま活躍中!」のコーナーに掲載する方のリクエストもお待ちしております。その他お気づきの点などございましたらお聞かせいただけたらと思います。

香川県立高松高等学校 玉翠会事務局

〒760-0017 高松市番町3丁目1番1号

TEL (087) 831-7251(代)

FAX (087) 831-0010

E-mail info@gyokusui.org



メールアドレス

ホームページ

公式：香川県立高松高等学校同窓会玉翠会本部

<https://gyokusui.org/>



ホームページ

玉翠会本部

検索

▶ 卒業生限定コンテンツパスワード
gyokusuikai1950 (固定)

▶ 玉翠会報閲覧パスワード km21c (毎年変更しています)

定時制だより

ご挨拶

教頭 橋本博之

令和五年度は、新入生六名を迎えて、生徒二十二名(男子十名、女子十二名)、職員七名でスタートしました。

生徒は、卒業後の進路を見出そうと、夕方からの授業に真剣に取り組んでいます。私達職員は生徒の個性や希望を尊重しながら、内容を精選し、基礎・基本を大切にしながら「わかる授業」を第一に、と考えています。また、学校行事にも工夫や改善を加えて、生徒会を中心に、学校生活の活性化を図っています。

始業前や放課後、教室では、生徒たちのにぎやかな話し声が絶えません。今後とも生徒と教師のふれあいの場を大切に、生徒一人ひとりの将来を見据えた教育を行います。

以下、本校定時制の主な学校行事を紹介します。

○入学式 —男子二名、女子四名—

四月七日(金)、六名の新入生が定時制課程に入学しました。

新入生代表が「強い意欲を持って、校則を守り学習に努め、立派な定時制の生徒となります。」と、澁刺とした声で宣誓を行いました。高校生活への期待と意欲が窺えました。



○新入生研修 —親交を深めた活動—

四月二十一日(金)、学校から歩いて峰山公園へ行きました。

晴天に恵まれ、山の上で昼食をとり、展望台では島々の浮かぶ瀬戸内海の景色を満喫しました。

つつ、親睦を深めました。バレーボールなどのレクリエーションをするなど、とても楽しい様子でした。短い時間でしたが、笑顔いっぱいの活動となり親交を深める研修となりました。



○県定通総体 —二種目に出場—

六月二十五日(日)、香川県定通総体が開催され、バドミントン競技(男女)、卓球競技(男)に出場しました。新型コロナウイルス感染症の制限もなくなり、応援生徒は声援と拍手で精一杯盛り上げました。



バドミントン競技では、四年次生の山田さんが女子個人戦でベスト8に入りました。

授業が終わって疲れている放課後、毎晩努力してきたその練習の成果を十分に発揮することができました。

○第七十三回文化祭 —定時制2024—

九月九日(土)、十日(日)の二日間、完全公開での開催となりました。定時制のメイン企画は、巨大なモザイクアートと縁日をイメージしたゲームです。生徒会長がデザインした原画をもとに、夏休み中から四年次生が色塗り作業を行い、鮮やかな巨大モザイク画を完成させました。また、生徒会有志が射的のゴム銃を作製し、一・二・三年次生が全体の装飾やその他の作品展示を担当しました。



全員が力を合わせ、一つのものを作り上げるという貴重な経験ができ、充実した文化祭となりました。

○観月句会 —月見と俳句—

九月二十九日(金)、

十五夜の満月を見ることができました。街の灯に負けないほど明るく輝く月を見ながら、各々の気持ちを俳句に表しました。

保護者の方にも参加していただき、玉翠会館和室でお茶会を開催しました。和菓子とお茶をいただきながら、俳句の優秀作品が披露され、選ばれた人からは歓声が上がりました。日本の文化を味わいつつ、学年を越えての交流も深めることができました。



- ・夜の月人が静まり兔の祭り
- ・屋上でよこがせふかれ秋の日を
- ・満月と熱い視線の睨み合い
- ・月の中入ってうさぎに会いたいな
- ・ハンバーガー月見を片手に月見上げ

○生活体験発表大会 —自身の成長—

十月二十一日(土)、

香川県教育会館ミュージアムホールで県大会が行われ、本校定時制を代表して四年次生の山田さんが、「好奇心と自立」と題して発表しました。堂々と落ち着いた態度で、自らの経験と成長を振り返った発表は、「優良賞」を受賞しました。たくさん



の人と出会い、関わる中で、自分を見つめ直し、頑張ってきた自らの内面を、言葉に表しながら発表する姿に、聞いていた後輩達も勇気をもらえたのではないかと思います。日常の大切さと発表者の高校生活を通じての成長が伝わる素晴らしい発表でした。

○校外研修 —中津万象園うちわ作り体験—

十一月二日(木)、さわやかな秋晴れのもと、中津万象園を見学しました。まずは園に併設された丸亀うちわミュージアムでうちわ作りを体験しました。講師の方の指導のもと、本体にま

んべんなくノリを付け、紙がずれないようにするなど、繊細な作業の連続でした。



余分な部分を裁断し、周りに化粧紙を貼り付け最後の仕上げを行いました。その後、心地よい秋の日差しを浴びながら、千五百本の松が植えられた、回遊式の大庭園を散策しました。

○予餞会 —四年次生をねぎらいました—

二月九日(金)、生徒

会が中心となって企画・運営・準備をしました。各学年が催し物を計画し、ゲーム大会を行うなど、予餞会を盛り上げました。楽しい時間で四年次生を送り出すことができました。



○卒業式 —晴れやかな笑顔で—

三月五日(火)、四年次生五名が晴れて卒業

しました。卒業式の後、HR教室で保護者の方々が見守るなか、担任の泉田先生やお祝いにかけつけた先生方から祝辞をいただき、念願の卒業証書を手に入れました。高校時代の思い出を宝にして活躍してくれることを祈っています。



通信制だより

ご挨拶

教頭 高木大輔

通信制課程では、本年度、新入生四十三名を迎えて百六十四名でスタートしました。

通信教育は、自学自習を基本とし、学校から毎月送付されるレポート課題を作成、提出して添削指導を受けることが学習の中心となりますが、面接指導（スクーリング）のある日曜日には登校して、レポートを作成する際に解らなかつたことを授業で学んでいます。

授業以外にも、新入生歓迎行事や文化祭、体育祭、生活体験発表会、遠足等の行事もあり、楽しい雰囲気の中で学習しています。以下、通信制課程の主な行事を通して、在校生の様子を紹介します。

〇入学式

四月七日（日）、令和六年度入学式が行われ、一年次生三十二名、二年次編入生六名、三年次編入生五名、合わせて四十三名の新入生を迎えました。



厳かな雰囲気の中、校長式辞、同窓会からの祝辞に続き、新入生代表より宣誓文が読み上げられ、入学生一同、新たな学校生活に期待を膨らませたようです。高松高校通信制課程での学びを通して生徒の皆さんの夢や希望が実現できるよう心から応援しています。

以下は令和五年度の記録

〇つどい、夢チャレンジ講座①

五月二十一日（日）に行われた「つどい」は、通信制に新しく入ってきた仲間を歓迎する最初の学校行事です。今年には在校生四十二名に、久しぶりに同窓生五名も加わり、賑やかな雰囲気で行われました。班別ミーティン

グでは、班長を中心に新入生に対し学校生活を送る上でのアドバイス等、先輩方の貴重な話を交えながら、積極的な語り合いがなされました。続いて行われた班対抗ソフトバレー大会やドッジボールは、景品も出て、大いに盛り上がりました。

午後は、夢チャレンジ講座①として、徒歩で県立ミュージアムへ移動し、対話型アート鑑賞をしました。アートカードゲームで楽しんだ後、特別展「空海」などの鑑賞をしました。

〇夢チャレンジ講座②

六月四日（日）の夢チャレンジ講座②では、丸亀市の中津万象園内にあるうちわミュージアムで丸亀うちわ作り体験をしました。丸亀うちわ作りには、大きく分けて「骨」と「貼り」の工程がありますが、今回は貼りのうちの、貼立・型切り・へり取りを体験しました。各々が絵や文字をかって準備していた地紙に、刷毛で手早くのりを付け穂に貼った後、専用の道具で余った竹を切り、へり紙を付けていきました。のりを付ける量や道具の使い方など見様見真似で作りましたが、完成したうちわは、どれも個性溢れる味わい深いものとなりました。うちわ作り体験後は、美しい庭園を散策したり、園内にある丸亀美術館の絵画や陶器を鑑賞したりと楽しみました。

〇県定通総体

六月二十五日（日）、香川県高等学校校定制通信制課程総合体育大会が開催されました。本校通信制からは、七名の選手が、陸上競技、バドミントン、卓球に出場しました。陸上競技では北野瑞季さんが走幅跳で



自己ベストを更新して一位、バドミントンでは坂本秀さんが男子シングルスで準優勝、卓球では男子団体（牛久保直輝さん・藤田悠冬さん・清家朋哉さん・荒井龍昭さん）で優勝と、各競技で好成績を収め、三競技とも全国大会出場を決めました。

〇校内生活体験発表会

八月二十七日（日）、全校生徒が五階玉翠ホールに集まり、第五十六回校内生徒生活体験発表会が開催されました。各年次から選出された七名の代表者が学校生活や自分の人生と目標などについて発表しました。どの発表も素晴らしい内容で心に残る発表会でした。審査の結果、一位に四年次の清家朋哉さん「弱さ」が僕を強くする」が、二位に四年次の池田裕太さん「出会いと別れ」が、選ばれました。清家さんは、代表として香川県選会で発表し、優秀賞を受賞しました。池田さんは四国地区大会に出場（録画審査）し、努力賞を受賞しました。



〇文化祭

九月九日（土）、十日（日）、制限なしの一般公開で全定通合同文化祭が開催されました。全体テーマ「Stay Hungry Stay Foolish」のもと、通信制では、夢チャレンジ講座で学んだ「丸亀うちわ」の研究報告とうちわ作り体験・手作りグッズ販売を中心に、教室展示を行いました。有志の作品も含め例年以上に充実した展示となり、教室展示校友会部門で優秀賞を受賞しました。また、グッズ販売で得た収益は全額、県社会福祉協議会に寄付することができました。



〇体育祭

十月八日（日）、体育館二階アリーナで体育祭を開催しました。午前中は開会式の後、年

次対抗戦としてスプリンリレーやパン食い競争、ソフトバレーボール、借り物競争（女子）のほか、ゾンビ鬼ごっこ（男子個人戦）を実施しました。午後からは、〇×クイズの後、ボールはじきや玉入れ、ドッジボールなどで、熱戦が繰り広げられました。今年度も参加者全員が楽しめる企画で、大いに盛り上がりました。



〇遠足

十一月十二日（日）、生徒・職員六十九名で、高知県高知市の高知城歴史博物館とその周辺へ遠足に行きました。今回は、まず博物館で土佐藩、高知ゆかりの資料を見学した後、日曜市班と高知城見学班に分かれて、自由に時間を過ごしました。限られた時間ではありましたが、多くの観光客で賑わう高知の街を友人らと楽しみなが散策でき、大いにリフレッシュすることができました。



〇生徒総会

十二月三日（日）に生徒総会が行われ、新生徒会役員が承認されました。任期は令和六年一月一日から十二月三十一日までです。新役員の皆さん、一年間よろしく願います。

〇卒業式

三月五日（火）、体育館において、全定通合同卒業証書授与式が挙行されました。通信制課程では三十一名の卒業が認められ、代表で清家朋哉さんが卒業証書を受け取りました。仕事や家庭との両立に苦労したり、さまざまな悩みを抱えたりしながらも、無事この日を迎えることができた卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今後のご健康とご活躍を心よりお祈りしています。

校 友 会 成 績

運動部の軌跡

〈陸上競技部〉

▽四国総体

【男子】

▽百十 m ハードル

▽二百 m

▽県新人大会

【女子】

▽百 m

▽水泳部

▽県新人大会

【女子】

▽二百 m 自由形 二位

▽百 m 自由形 三位

▽四 × 百 m メドレーリレー 三位

門田 佑子

門田 侑子

大塚 向日葵

門田・須崎

海蔵寺・小松
全国高等学校駅伝競走大会
香川県予選会

【女子】

〈柔道部〉

▽県新人大会

【女子】

▽48 kg 級個人 二位

柴田 さくら

〈山岳部〉

▽県新人大会

▽団体

二位

〈ヨット部〉

▽四国総体

【女子】

▽四二〇級 一位

旭・勝田

▽県新人大会

【男子】

▽学校対抗 二位

▽四二〇級 三位

杉田・白川

▽シングルハンダー級 三位 瀧川 凌矢
▽シングルハンダー級 一位 勝田 実利

【女子】

▽フェンシング部

▽県新人大会

【男子】

▽団体エペ 二位

▽個人サーブル 三位

▽個人エペ 三位

▽団体フルーレ 一位

▽団体サーブル 二位

▽個人フルーレ 一位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

▽個人エペ 三位

令和5年度 先輩講演会

「景色が変わる。まちが変わる。」

池 田 豊 人 氏

(昭和五十五年卒)

創立百三十周年記念講演会として、記念式典に続いて、第二回目の玉翠グロリーバルアカデミーが行われた。今回の講師は本校を昭和五十五年卒業され、現在香川県知事を務められている池田豊人氏。「景色が変わる。まちが変わる。」という



演題のもと、これからのまちづくりについて話された。まず、国土交通省に勤務されていた頃のお話では、法律を作ること国全体の環境への取り組みが大きく変わったことが強く印象に残っていると紹介された。そして、行政や政治はボランティアの延長線上にあり、「ありがとう」が人生の財産になるという思いを語られた。次に、四十二年ぶりに香川に住んで、昔から変わっていないこととして、商店街の賑わいや高松のまちの

雰囲気を感じながら、知名度が低いことを挙げられた。土地のブランドイメージは大事であり、これから瀬戸内国際芸術祭をはじめとしたアートのイメージを定着させることを目標にしているという。また、人々がまちを歩き、まちで出会うことの重要性についても語っておられた。そして、孟子の言葉を紹介し、「天の時、地の利、人の和」は全て大切だと話された。最後に、世の中がよくなったことは、景色が変わった実感となってあらわれると締めくくった。講演の前後には生徒と手を振り合う場面も見られ、言葉の端々に香川を大切にされている思いが窺えた。今回の講演は現知事のお話から香川やまちづくりを考える良い機会となった。

～創立130周年記念寄贈品のお礼～

創立130周年を機に令和4年12月末まで寄贈のお願いをさせていただいたところ、皆様から様々な品をご寄贈いただきました。ありがとうございました。



ご紹介

■屋島陸上競技場で初めて行われた体育祭の写真
—植村 登 様 (昭和 33 年卒) 寄贈—



例年体育祭は学校の運動場で行っていたが、昭和31年の第8回体育祭は初めて屋島陸上競技場で実施された。寄贈していただいた植村登様は当時の自治会長。写真部顧問をされていた畠山武史先生(理科)が上から撮影された写真を記念品として自治会長の植村様に贈られたものだそう。当時は仮装行列があり、道具の運搬などにもご苦労されたようです。

教頭	香川 昌之	琴平高校より
教頭	高木 大輔	高校教育課主任管理主事より
教諭	小林 京子	高松東高校より
教諭	大森 絵美	丸亀高校より
教諭	山田 芳紀	丸亀高校より
教諭	寒川 有香	高松北高校より
教諭	森田 信幸	観音寺第一高校より
教諭	竹内 峻	高松桜井高校より
教諭	太田恵利子	丸亀高校より
教諭	藤田 航	丸亀西高校より
教諭	飛倉 歩美	高松西高校より
教諭	蓮井 陽菜	香川東部支援学校より
代替講師	中北利生子	新規採用
町替町	橋本 朗	丸亀城西高校非常勤講師より
時間講師	山本 伸子	
事務部長	高島 明美	観音寺第一高校事務部長より
事務	岡谷佐栄子	飯山高校より
事務	高森 恵子	新規採用
教員業務	篠原 雅浩	新規採用
支援員		

1. 国・公・私立大別合格者数

◆◆◆◆ 玉翠会員から図書館への寄贈図書について ◆◆◆◆

渋谷ゆう子氏（平成5年卒）	
『生活はクラシック音楽でできている』	1部
『ウィーン・フィルの哲学』	1部
『名曲の裏側』	1部
大西良生氏（昭和20年卒）	
『菊池寛研究年譜』	1部
中井 護氏（昭和39年卒）	
『忘れられた記録の回復』	1部
上田 倫氏（昭和48年卒）	
『晏子』宮城谷昌光著 他	計25部

・写真で比べる中国大都市の近現代 1～3巻
・身近なモノやサービスから学ぶ「情報」教室 全5巻
・チャレンジ!生物学オリンピック 1～5巻
・災害復興学事典 1冊
・災害食の事典 1冊
・工藤直子全集 1冊
・世界童話寶玉集 1冊
・新装版シャーロック・ホームズ全集 全9巻
・生態学大図鑑 1冊
・吉本隆明全集〈第Ⅱ期セット〉 全13巻
計203、77

計 203,775 円
高松高校図書館

令和五年度

令和六年三月三十一日現在

会費納入者

旧職員

安部勝雄、池西裕、出射隆文、浮田清市、牛田尚、
靱俊男、鏡原壽、木村斉、小松昭夫、杉岡保之、筒
井優、長尾裕隆、乃村龍決、畠山敏明、松岡宏一、
真鍋正明、三谷敏雄、宮西比呂志、本澤大弘、山内
康照、山野裕章

高 中

昭一一 野口吉美
昭一二 細谷寛
昭一五 左達史朗
昭一六 福家幸二
昭一七 塩田治雄
昭一七 田中貞三
昭一九 吉武秀夫
昭二〇 (五〇回) 大津新平、小川純、木内正夫
昭二〇 (五一回) 入谷啓一朗、萱原博美、黒田貴芳
昭二一 前田勇
昭二二 池内英夫、藤澤龍一
昭二三 綾田修作、村川正良、若井亮一
昭二四 小松信幸、藤本孝雄、丸吉幸也

晩 翠

昭二五 高德多美子
昭二七 川崎二三、村尾幸子
昭二八 赤沢芳子、熊野弥生、櫻又フミエ、中田文
子、三宅スズ子
昭一九 青木富美子
昭二〇 (5) 芦沢カズ子、神原郁子、桑内道子、妹
尾秋子、玉岡敏子、宮脇シズ子
昭二〇 (4) 大山禮子、加藤鎮子、佐藤貴代子、陶

山和子、中山容子、八田明子、古竹佳子、松島千代、
山田洋子、吉原千香子

昭二一 安達恵美子、出渕寛子、入江一恵、川下郁
子、河野桂子、西山恵美、廣瀬芳子、古市寿子、堀
川幸、藪内信子、山崎朝子、吉野登嗣子

昭二二 井内菊代、高嶋桂子、筒井喜代、鳥飼敦子、
宮崎照子

昭二三 穴吹瞳、岡田町子、鎌田良子、田村ユキ子、
出口ツタエ、松岡道代

昭二四 (女子高) 中塚綾子、八田恵美子、福田文子、
星野昭子、水野綾子

昭二四 坂坂恒子、上井茂子、太田通子、加藤梶子、
河野孝子、小西道子、小林友子、志村澄江、武田節
子、多田幸子、玉城玲子、真鍋温子、宮武久子

高 高

昭二五 井原昭三、今長谷見沙、大山貞雄、岡督二
郎、岡田正宣、片桐チツ、河西孝信、木村貞寧、木
村崇也、木村寿美代、佐藤清子、多田幸男、筒井勝
義、平見芳和、堀田一義、堀正和、榎塚安得、山口
功男、渡部和子

昭二六 浅田宜仁、伊賀智壽子、泉亮、磯部祐子、
稲田公子、井上之、岩田和哉、植原守雄、大須賀選、
太田英章、大林淳子、小國照子、雄倉孝尚、大佛和
子、大比賀友喜、香川勝、香川貞子、梶富喜子、川
越久子、冠野孝子、北島定子、木下文夫、木村道夫、
久保あけみ、小林克己、小林美代子、酒井玲子、櫻
井文榮、七條昌一、島田美津子、末澤正則、竹島十
三子、田中博子、谷穀夫、谷本エミ子、富山弘子、
中北恭子、永野和世子、中村咲三、灘波文子、西村
慧子、根岸茂、野村美栄、葉原耕平、板東節子、蒔
田美智子、松岡正近、松本利夫、真鍋ヒロ子、溝渕
悟、森武子、山名昭恵、吉野宗、和良地みさ子

昭二七 明石多美子、朝江美恵子、井川久之、池内
皎隆、石津則子、今澤暉子、今田寿子、入倉満、上
坂小夜子、大浦廣子、大久保弘子、大塚寿子、大西
久美、岡義男、岡本節夫、算双子、勝又忍恵子、角
陸正健、木下治代、木村栖子、木村多美子、栗山明
子、小島徹、坂口弘子、高橋正、多田幸子、多田昌

弘、谷野瑞代、谷本久美子、土田孝栄、長尾薫、蓮
井玲子、長谷川順子、濱本藤夫、林越幸、廣瀬潮子、
堀池進、松原大子、真辺千也子、水嶋浅茅、水野道
代、皆黒未知代、三好幸子、山口芳子、山下祥治、
山本良子、山本洋子、吉田正、渡辺潤一、内海彰子、
久保和子

昭二八 青木泰子、天野彰、池田孝、出石賀代子、
今岡哲雄、靱紀子、太田宜子、大塚裕康、大庭珠子、
大畑峯子、小倉典康、鹿庭緑、萱原洋子、川口春陽
児、木原昌彦、小嶋治男、小谷主子、児玉正豪、児
玉昌子、齋藤敏夫、白石典彦、末澤富美子、須藤淳
子、関谷聡子、造田純代、多田信夫、鶴川舜一、寺
田邦子、寺林悦子、永井正敏、中島倫子、中村千恵
子、西田節子、野正照美、平田實、福田隆有、細谷
誠、前川初枝、町田照代、松本美津江、宮本寛治、
毛利滋、森恵洪、山西守、横田大和、吉田留美子、
高松千鶴子、真鍋義昌

昭二九 浅田峯子、井川和子、石橋治、今治幸子、
岩崎恭子、漆原英子、大川明、大熊明子、太田幸子、
奥村勉、雄倉幸昭、加藤伶子、佐藤正美、佐藤靖子、
杉原史子、関正弘、高橋等、田中澄子、都村忠弘、
土居邦子、中川美代子、中村成子、中村敬子、長谷
川汎、東原康雄、福田哲夫、福西久好、福家知子、
藤井和代、藤本克子、藤本方子、二川正之、間島豊
真鍋浩三、真鍋千賀子、三浦昭子、三木彬嗣、三好
良子、村上民子、安松玲子、山城蒼子、山田久雄、
湯谷節子、吉田晃、辻敦子、藤田孝栄、松崎淳子、
青木千夏子、大林正敏

昭三〇 秋山夫佐子、浅野道子、穴吹イソエ、池添
善山、泉州嘉輝、植田明、植松修三、遠藤俊一、大
沢一子、大林弘子、加宮利貞、木村貢、黒川数子、
佐立弘子、篠原俊一、白井勝子、武田睦、田中千種、
辻孝夫、鶴尾章、豊田治、中橋喜久子、中村博實、
西井戸惇子、原田佳江、坂東富美子、平尾和子、平
田祥子、福田尚子、福家皎、藤原洋子、増田猛、松
井昌子、松井慶子、三谷浩一、源淑子、宮武寛、宮
本宣明、村山守信、森井昂子、森下一仁、横山保子、
吉川孝、吉本照子、渡辺澄雄、国土美美子、宮武敏
子、古川利夫

昭三一 池上宏、池田郁子、井竿喜久子、石濱和子、
泉川繁代、井上靖彦、井上和子、岩部克美、鶴川英、
大熊敏彦、大崎凡二、大坪浩、大西孝一、荻坂邦彦、
小野朝子、垣田亮治、笠井省三、片岡浩一、加藤徹、
角谷實、河合功、顧化祐子、神原博、木下久美子、
木村孟、倉田康男、栗永和子、黒田道子、香西幹夫、
香西壯祐、古賀英子、佐々木敬子、佐竹正博、下山
順子、新名弘康、須賀敦子、田岡典子、高木美博、
高嶋和子、高原尚子、多田敏、田中早苗、中條安雄、
中條康夫、粒来美智子、寺内和子、中川和代、長町
昭子、中村都、中山信之、西村和雄、西脇美重子、
橋丘夫禧子、原節子、樋口正明、久松節子、平井茂
子、藤澤敬子、逸見正造、細田淳雄、松尾景子、松
本宏、真鍋恭子、溝渕孝雄、宮武敏夫、宮武茂行、
山崎敏輝、山田光彦、吉川和子、吉野文子、吉野正
良、木村允子

昭三二 秋山充子、浅野廣子、足利昌子、池添眞砂
子、石田周子、今岡重夫、今松順子、上野美津子、
鶴澤敬子、牛尾矩子、遠藤忠知、小笠原坦、小田原
満知子、梶河正孝、榎野弘子、加藤悦也、鎌野孝和、
川崎妙子、川谷幸子、河西善三、木島京子、木村宗
祐、久保田玉枝、久米哲雄、合田重子、後藤武俊、
後藤正順、小西靖子、佐伯勉、塩梅若菜、塩見宏子、
杉本静江、高橋朋子、武田七郎、龍田玉子、田中伊
都世、谷川照、谷澤田鶴、地下洋、飛谷高照、豊田
武則、鳥居三千代、中筋信二郎、中村咲香、中村利
寿、西浦雅子、新田美千子、秦弓楓、波多野光子、
花崎良政、濱田清、藤井人志、藤田恭子、松島明子、
松本俊司、松本邦子、三谷清子、三野正博、宮本宣
博、三好守真、村上征一、村上由美子、本岡和光、
森田健一、森田幸子、森山義政、山川早苗、山崎可
壽子、湯沢啓子

昭三三 天野勢津子、綾野仁嗣、池尻治、石井全、
井上榮、井宮秀明、植村登、臼杵貢江、大岡絢子、
大久保秀典、大西旻、大林紀久子、大村晃子、岡野
俊樹、岡野道子、岡本政俊、荻坂よし、川上智、河
北晏矩、河原忠一、神辺俊郎、北浜章子、木村栄二
郎、国方康博、久保勲、久保正範、桑名芳昭、佐々
木成忠、佐藤弘子、柴野孜、瀬藤利生、十河靖子、

高橋久代、谷森勉、田村大司、千葉節子、中井道子、長谷川勝子、原田純、原田貴弘、平田喜一郎、平野数夫、藤村武子、藤本利子、藤本良志美、二川文一、古市征、古川登代美、前川勲、前田道之、真鍋光広、間宮淳子、丸岡幹二、三隅興治、三谷純子、武藤満雄、八代紀子、八十八真二、山口興平、山田裕規、湯野寿也、吉岡崇、吉田陽彦、渡辺勝典、片山由美子、佐野紀子、伏石誠子、横関紀久子

昭三四 明田繁美、安藤知子、池桂、池田一昌、石田曉光、石原英輝、井上リエ子、井上富美子、上田和子、太田孝、大谷忠、大野由美子、岡本徳子、尾崎信子、梶野茂、香月桂子、加藤祥子、鎌野幸子、上村哲資、鴨田昭代、河合洋祐、河瀬一紀、喜多俊雄、木原文太左右衛門、河野一郎、近藤敬司、齊藤雅美、佐竹睦子、佐藤薫、塩本宏子、品治重忠、渋谷宣隆、清水美智子、杉喬、関根和子、竹内章雄、手塚裕子、土居英樹、土井弘子、豊田郁子、中谷浩三、中村裕恵、鍋田佳子、西山要、東川郁子、樋口順一、平井伸也、福家俊男、藤井照芳、細川治、堀家敏弘、牧野豊、真鍋武紀、三栖祥児、宮川栄之助、宮本圭子、村上雅子、森岡令和、山本正雄、吉野紀代子、渡辺修、村上博

昭三五 青木喜美子、秋山欣子、綾野親徳、安藤瑠美子、池田史子、石田守正、市原豊美、伊藤保恵、糸見幸代、印藤孝彦、上原繁美、植松節子、大川治子、大木幹夫、大塚佐知子、大坪和彦、大西大介、大室和代、岡俊一、岡澤恵美子、小笠原武、小笠原尚子、岡田國義、岡田洋子、岡田雅子、織田久美子、小野利明、小原文子、笠井邦彦、笠井ミヤコ、片岡章、加藤鏡子、鎌田毅、鎌田進一、鎌田隆、加宮恵美子、河合英幸、川口正之、河田俊彦、川田寛、菊池洋子、岸田豊江、北谷英紀、木下進、木下榮一郎、木村勝紀、国金庸夫、國宗孝雄、倉本久美子、黒田泰弘、河野哲夫、国生徹、児玉皓次、児玉秀正、小林叡子、齊藤寿良、酒井典子、佐々木史朗、佐藤彰男、三田喜代美、塩田栄子、柴田輝男、清水綾子、修理輝男、城山和代、末澤功、末澤玲子、図子知久、ストラッサ節子、世羅義昭、蘭浦政勝、田井朋子、高木茂昌、高崎浩敏、高嶋克洋、高杉千瑞子、高濱

孝、高原徹、武田善行、伊達博、谷沢一朗、谷原昭子、谷本朋子、谷本美那子、谷森圭子、玉越公智、田山棟信、團野恵子、中條和臣、土屋美子、鶴尾公子、豊島雄一、豊島英俊、豊島徹、柝折慶子、富永千恵子、豊田章二、長尾綾野、長嶋ヨシエ、中野紀子、中野文子、中村昇、中村恒章、中村美千代、西本功子、西吉利裕、秦英樹、浜本俊一、福家完治、藤井英世、藤木孝一、藤田紘美、藤本征機、藤本定斗支、二川浩三、星野登美、堀田健治、本田道明、増田恵美子、松木恭一、松木信、松本修二、松本孝子、真鍋禮男、三井勲、三野宏、三宅治美、宮武秀夫、宮武哲、宮本仁美、向井輝彦、元久正美、森山亮、山下俊次、山科桂子、山田勝、山田泰三、横山邦子、吉野英子、和田脩、池田修

昭三六 青木博美、浅田昭、穴吹洋幸、安倍惇、荒木統、池田正実、石原優子、市原功、井上浩二、岩村清志、植松登志子、植松芳哲、宇賀美代子、江村美光、大宇根成子、岡奎子、岡興久、岡順子、岡田佳代子、奥村勝彦、越智美子、小夫淳示、鹿兒島鐵子、片山重正、鎌田基志、釜野智裕、鴨川尚史、木村和照、木山昭栄、久保正篤、桑島実、小嶋武士、五ノ坪恵子、小林孝良、小林忠子、近藤洋子、佐々木ウタ子、佐藤芳久、篠原茂信、四宮靖三、四宮美江子、神内好伸、陶聡子、杉山義武、鈴木鞠子、瀬戸厚子、高橋良忠、武田英徳、多田哲子、田中曉子、田中敏子、千切谷多一朗、辻勇、津田健二、徳永孝明、飛田久子、飛谷節子、豊田英紀、中村敬、中村照美、西川恰子、西村博、花岡清子、原洋子、藤本良子、細川憲昭、細川修吾、前田葉子、増田徹也、増田昌三、松尾美智代、松岡重子、松沢尚子、松下好博、松本英伸、松本保子、真鍋宣子、真鍋芳美、真鍋尚義、三澤順子、三好益美、森祥子、森混子、山地正彦、湯藤美千代、吉武泰俊、與田康子、渡辺寛、和波保

昭三七 秋山建樹、荒井信子、荒木正志、安藤正道、伊賀淳、猪又清之、上野邦一、漆原澄子、大崎弥枝子、大須賀誠、大野毅郎、岡崎洋、岡田超生、小国昭、小野泰子、香川暢也、片岡勝子、金田清臣、鎌田紘志、喜多克幸、北泉洋子、北岡保之、熊敏彦、

久米修三、黒田節子、桑名信雄、五井修子、香西敏小松義照、近藤俊子、齊藤司朗、齊藤尚則、澤村田鶴子、塩田洋、塩津俊幸、神内美美子、神保昭子、杉内克己、鈴木郁子、千野昭代、高尾義介、高濱信之、高松薫、高宮誠、竹下邦彦、立花広海、玉置正、辻勝子、鳥居昌子、鳥飼勉、長尾幸夫、長滝秀信、中野和彦、野崎敦夫、幡英一、幡多茂樹、林越則昭、広瀬健次、福島正信、藤澤峻、藤村祥一、二川尚子、船曳桂子、古澤恵紹、細川昌美、松尾久美子、松岡博昭、松本芳樹、三原弘子、三宅加代子、宮野明子、宮本盛規、宮脇和夫、村上誠一、森忠彦、森峯子、森田順子、山崎敏範、山崎敏秋、山崎瑞枝、吉田育代、和木典子、渡邊美智子、鹿嶋忠明

昭三八 朝國武子、荒井瑞代、石川喜久、石橋紀明、石原久子、和泉英彦、今岡幹典、岩倉信子、岩嶋樹也、上北圭子、植田重則、上田英敏、内茂茂男、太田光則、大橋公子、岡田幸子、岡部敦弘、小川実、梶村正俊、鎌田邦栄、鎌田孝子、北角幸弘、吉瀬祥子、後藤節子、重松麓、新谷勝廣、新藤禮子、神内邦隆、須田勉、十河正親、田井稔三、田岡聰、高井紀代、高木宣子、高田美穂子、高橋修一、高橋昭子、高橋悦子、高松洋、田阪武夫、立山真浩、玉城哲子、竹馬輝子、辻義人、東条寿男、袴田邦子、原田正文、廣田一機、廣田正子、福士三千子、福家正博、藤岡勢都子、藤田雅敏、二川俊秀、松高壽子、松本秀三郎、真鍋慎吾、真弓哲二、水本尚、宮武正明、宮脇美子、三好尚武、森茂昭、森川信子、森田紘一、矢野智行、山谷幸男、横濱佳子、和田かず子、渡辺トシ子、常谷忠克、中山哲子

昭三九 赤澤寛幸、東時子、池田駿介、植村正子、遠藤啓吾、遠藤顕子、大西興二、大西昭宏、岡健、小笠原善郎、岡田誠、小倉良弘、尾崎修敬、小畑美智子、小比賀俊彦、片岡真二、河西和江、久保久仁子、桑井政信、小磯智恒、西西祥子、小塚照美、小西博行、齋江知、齊藤壽彦、佐古昭代、笹川滋、佐竹勝利、重松純子、渋谷崇子、須田高、高田等、武田一憲、千切谷真澄、寺尾眞樹、中井徹、中井護、中西登紀子、長町典夫、蓮井直行、蓮井愛子、蓮井加代、濱本貴美子、原田美由紀、藤川吉祥、藤川幸

子、藤原一俊、真木徹志、増田恵弘、松田美也子、松永紀子、松村憲太郎、松本英子、真部利広、三野安恵子、宮北薫、村井恵子、山地正克、横田豊、吉岡郁子、吉田雅子、吉原哲也、和田朗、熊井小百合、常谷香代、米津照夫

昭四〇 赤松葉子、東弘子、穴吹和士、穴吹貞文、泉谷武信、伊原本久美子、岩瀬雅宏、岩瀬昌樹、臼杵季典、大川直澄、小河孝則、小野スミ子、小比賀曙美、片山曉子、萱原徹男、河田マリ子、北坂典子、栗林伸碩、後藤康生、後藤正徳、小西憲昭、品治純子、末包昭彦、十河トモ子、高尾佳巳、高見政己、高見純子、詫間敬芳、多田進、多田文雄、谷口光、谷本義隆、玉越美雪、土屋博子、堤康、角田朝則、寺尾卓、徳永信子、中井敬子、中上昌二郎、中西かをる、中野美恵子、長野新一、中村茉莉子、中山惇、名和詔子、西尾嘉孝、西尾道子、西田耕治、西原浩、西村弓、乃一裕、野口章男、八田光、平尾耕三、福井義喜、福家秀紀、藤川行江、邊見敬三郎、前田みどり、舩形勝、松岡睦子、松田滋明、松原珠実、松本百合子、水尾一信、湊唯義、三原衛、森岡茂、森本雅榮、森山敏子、八十八紀夫、山神弘、山下美智子、山田義雄、吉田穂束

昭四一 穴吹久子、岩田喜美枝、岩村わか子、浦川建一、大谷俊子、大西利喜子、大瀧義幸、大藪修二、岡悦子、小笠原敬三、岡田千昭、岡田憲政、岡本敬子、荻田耕三、小田レイ子、檜原正也、加藤英子、金尾光子、鎌野昌司、河口三枝子、河瀬知子、川田清彌、川南節子、木下俊子、日下瑞子、楠聡文、久保稔、久保田ミワ、桑島治子、合田吉徳、小西博子、近藤秀樹、坂口昭子、佐藤知子、佐藤修二、佐藤隆、志摩靖子、島村久美子、白取美由記、杉上彰、鈴池典子、鈴木清子、砂川敏文、関根建一、孝岡弘子、高田敏也、高橋博之、高濱安子、高宮あゆみ、高山桂一、武井邦夫、竹内憲夫、武内滋、多胡護、多田則明、田附尚、立野省一、田中利彦、田中陽子、田村貞雄、田村真美子、彈正原寿美子、筒井順子、土居徹、登那木悦子、富田朱美、仲下京子、中原きよ子、中村秀明、中村弘、中村陽子、灘波章、西村良治、野口吉秋、浜坂保治、浜坂宰代、原京子、東原

憲子、広瀬政憲、広瀬譲治、広瀬幸子、福井励子、藤野裕子、藤本彰二、二川和彦、堀亮子、堀井茂男、松井美美、松本一路、松本信吾、松本太一、松山千恵子、萬谷嶽典、三浦卓二、三木知子、水落邦子、溝淵利博、三橋朝子、箕田俊介、宮崎哲雄、宮崎一郎、宮崎高子、宮下慎一、宮本輝夫、宮本富夫、宮脇良秋、村上克己、牟禮明、森茂樹、森知子、安原ルミ子、矢野恭治、山崎三十子、山崎律子、山下民子、山田智、山田潔、山地康夫、山本一郎、横田ひとみ、森川輝男

十河泰司、大師堂清美、高岡英治、高橋久子、詫間行芳、竹下和男、伊達順子、田中恵、筒井伸司、常谷薫、坪井俊樹、津村潤治、土居正博、永井博行、中野百合子、中村敏雄、中村谷年威、中村谷絵美子、新谷富子、二宮信治、野上和子、蓮井茂幸、秦和也、原田洋子、平尾美子、平山隆子、藤沢譲二、藤澤万季代、藤澤福子、藤田壽子、藤村勇、古澤幸夫、別枝修、星野次永、細川壽美、堀家みどり、松見涼子、松本学、溝淵寿一、溝淵博司、溝淵敬子、三谷千尋、宮地節興、宮脇範次、矢野裕子、山上英司、山上明子、山崎具美枝、山下明、山本二平、山本道子、吉田良順、吉本泰三、米本文子、頼富節子、渡辺純子、中村友子、能崎八重子

北川康裕、木村博則、國友美則、久米川和子、後藤裕子、小西郁生、小山美恵子、佐伯淳子、榎原賢治、坂口道啓、坂元順子、坂本博子、櫻又正士、笹島幹豊、笹原常良、佐藤和史、塩田耕三、住友照明、諏訪眞司、諏訪千秋、千田香代子、高垣健治、高崎美知代、多田幸司、多田啓志、田中恵子、田村寛司、田村裕子、天雲定義、天雲一裕、土居直哉、富百世、中博史、中川茂樹、中津佳昭、中林秀世、中山幾代、西岡千鶴、原田育枝、福西敏浩、藤江和恵、藤原裕子、古川健造、別所博子、松岡正己、松岡幹雄、松家由岐子、松垣富美子、眞鍋和人、眞鍋暁代、三浦雄二、向井幹雄、村山正俊、森岡眞治、森田知恵美、矢野年紀、吉田恭典、吉村純子、米沢基子、渡邊智樹、渡邊寿磨子、渡里幸平、村川正信、川下幸夫、村上美智子

平池稚依子、福家智子、藤川宏樹、本家陽子、間島賢治、松岡久美子、松岡知子、松山哲也、三浦誠、溝口重治、三谷啓子、光宗皇彦、三野朱美、宮武茂典、横倉浩三、和田勝、飯島裕幸、岡田育子、阪本一樹、土居範行、東原正明、三崎隆志、三野容志郎、**昭四八** 芥田敬三、阿部知代、井口進午、石田純子、泉尚好、稲垣浩、上村和夫、岡輝人、岡内清弘、織田幹子、亀井收、川北智司、川窪洋子、川下譲二、菊地澄子、帰来雅基、倉敷ツヤ子、黒川知文、小石泰子、香西一憲、香西良子、河野功、小西二郎、里見昌信、白石宏志、十河政史、詫間美千代、竹林由美子、多田泰三、田中勝英、谷澤昭彦、寺嶋吉保、土居譲治、仲西さち子、中山緑、西山正寛、納田安章、林義隆、久本吉亮、福嶋哲弘、藤井敏孝、藤枝好、藤田和志、藤田光代、古市哲也、堀祥二、丸谷照代、水杉好子、美馬祐一、宮本幸治、宮本吉朗、宮本陽子、宮脇誠、森秋文、山口純司、山下友子、山地芳和、横山美登里、渡辺雅子、十河憲夫、富永信彦、畠山茂毅、藤本美智子、松木孝之、真井邦晃、宮本丞祐

昭四二 明石陽子、阿部修二、池内巧、池田文明、池田茂、石橋真知子、稲田和則、井上協典、猪子順、岩崎敬子、岩嶋修治、岩本悟子、鞆修二、恵比須忠、大坪美知子、岡田はる子、小倉マリ子、織田靜信、香川茂雄、香川マサ子、梶村恭子、片山博親、鎌田町子、河合公三、川西笑子、川西進、川野壽、河本彰、木谷紀子、熊野清、糸井純一、黒川秀子、小磯修二、古米俊雄、佐々木正博、佐竹和子、佐藤公信、佐藤修、佐野八重子、重成憲裕、品川直介、隅田和子、十河喜代、高嶋博、高橋敏美、田原清美、田伏繁晴、瑞田健二、瑞田隆子、対馬健三、手島洋一、中井敬一、中尾正喜、中村芳正、新谷充則、橋田敏子、波柴幸子、橋本幸久、原田俊、平井大資、平井陽子、平尾準一、平川峰子、福島正行、藤澤哲夫、藤田万久、藤花康子、二川正志、堀上さえ子、前田道宣、前田糸子、榎田實、増田佐由美、松浦利行、松尾和代、松岡修平、松野芳則、松本隆茂、松本学、三木周一、水本節子、皆川鈴子、宮武秀俊、森一真、八尾房代、山形久美子、横手朱美、渡辺行範、岡田久、毛利成一

昭四四 秋本まり子、明田正輝、穴吹一雄、天野義行、天野百合、池田育子、石川幸子、石原隆、糸瀬敏恵、井上正美、入倉憲二、上杉エリ子、植松恭平、遠藤隆江、太田賀久、岡田和美、小野坂寿夫、小原文雄、海面豊、片木留美子、片山美穂、河井忠比古、河合幹夫、川田佐知子、岸本律子、木田一正、久能健一、熊丸幹子、小竹和夫、小西博子、斉藤旬延、早乙女照美、佐竹悦子、里見恵子、重松佐栄子、清水具代、清水昌子、白川滋、神馬牧子、須田文誉、高橋千寿子、竹内司、竹広章代、多田譲治、多田薫、田中豊子、中尾裕、中尾好輝、中尾洋子、長尾哲見、中川保、仲田恵子、中山真理子、西田直樹、西山司朗、野崎達二、濱島研作、林越洋子、原田章二、坂東啓一郎、平尾幸夫、平田隆久、広瀬真理子、福本敏子、藤本和子、松本伸一、溝淵香代子、三原聖則、三好真琴、三好久美子、向井万里子、虫本光徳、村川英一、村松礼子、森川敏純、森崎秀子、山本博、湯浅葉子、吉田渉、吉田貞克、和田俊裕、渡辺正博、渡部莊三、渡邊洋子、六車一夫

昭四六 秋友直文、一小路泰夫、植松道治、大谷義美、大村章子、小野田実、加藤雅子、鎌田順二郎、鬼無敬子、木村修久、小島英夫、齋藤誠二、佐々和子、佐藤法暢、篠田美津子、新川進洋、圖子泰、高橋京子、高橋彰子、塚原布海子、辻川弘子、寺井健、土岐彰、富田直樹、中島久男、中島英男、仁木壮、長谷川浩一、原口君代、日詰裕雄、平野佐代子、藤原郊美、眞崎牧子、間嶋弘、松井美紀夫、丸谷幸彦、三谷哲夫、山本眞也、脇口明子、脇谷勇夫、秋山寿行、岩澤和夫、四宮洋次、菱井利祐、松岡省三、安田元、山下和彦

昭四九 東雅之、安藤千代、池田和真、石田謙作、石田京子、内田徹、大饗由之、大西値恵子、小川哲郎、加藤昭彦、木内照朗、北村篤孝、久保睦子、佐瀬洋一郎、鈴江ひとみ、高桑名保美、高山もと、武田英照、田島朋子、谷本一成、土居邦壽、長尾忠司、中島延淑、中島玲子、西原義和、野村充伸、林恵、久本美穂、平田芳廣、廣田光宣、福田安伸、本川一善、松延秀一、松本淳子、三好和幸、守谷健弘、山下誠志、中条良則

昭四三 穴吹修二、有富麻里子、飯田博、飯間秀雄、伊賀三千廣、井川洋右、池田篤子、伊藤擴充、井上葉子、入倉則夫、上杉哲人、植田里津、上野準一、植松正良、牛川務、卯目和巧、太田道博、大西豪、大眉秀人、岡孝憲、岡部悦子、鏡原満、香川優、桎昭二、加島英二、加藤一正、加藤育子、門田賀子、川崎正視、川崎達夫、川畑省三、喜多悦子、北原信子、吉川富子、鬼無律友、木村安男、桑田淨伸、小坂悦夫、小西久典、小西洋子、齊田光則、七條政志、

昭四五 青木茂、青木宏道、池上晴英、池田恒明、池長由紀子、石垣佳邦、石鍋典子、伊勢明人、伊藤輝一、岩見葉子、植田和弘、植松由量、大熊一任、大澤昌子、大嶋正司、太田洋子、太田和代子、大坪恵美子、大西茂明、小笠原弘子、岡本久大、小佐野千重子、片岡正章、加藤寛、加藤朋子、金森越哉、龜田進、喜岡渉、菊間恵子、岸本泰三、喜田恵治、

昭四七 淡洋一、池田恵子、猪崎弥生、一村公典、稲毛和子、井上浩一、上枝正人、上枝百合子、上原昭子、上春育子、大角芳史、太田康子、大橋ひとみ、岡弘文、岡範全、岡英憲、岡内利文、岡本吉民、小野坂律子、香川典子、梶野雅義、片山美代子、川西健登、河本恭之、神田成栄、岸上孝美、岸本光代、木村ますみ、久詰陽康、久保正典、久保隆彦、久米川啓、合地研吾、小坂眞智子、駒木典子、笹倉啓子、佐藤茂、佐藤哲男、嶋靖記、嶋村昭、正箱孝史、鈴木史江、高田純子、多田美佐子、立岡英宏、津村恭子、出口清子、寺師明美、天雲俊夫、中智子、中澤亨、中西範幸、南野三津子、西村康子、西山文子、西山徹、西山弘子、野口隆、野崎憲子、羽柴敬二、

昭五〇 朝原周一、穴吹善範、池田育嗣、池田朋子、井上康、今竹泰典、大内典子、大角京子、大西葉子、岡崎功、岡山栄作、奥村康夫、河辺亮、神邊節子、岸本直子、河野美智子、小嶋唯司、近藤延子、佐藤暢、柴田節、島本和徳、菅原香代子、鈴木聡、隅田啓、武田伸二、辻上寛美、徳広信也、豊澤佳弘、名尾和広、長井啓介、永留三恵子、萩本豊、萩本佳美、萩森康史、橋本香代子、花房長広、日吉孝夫、平井一也、藤田次郎、淵崎正弘、逸見美千代、松田圭司、見市昇、三谷勝明、南楚希代子、三好智次、元山賢

治、山村雅彦、山本徳洋、和田孝子、和田邦子、住谷眞、中条博子、板東靖人

昭五一 青葉典子、大西ゆかり、大林實温、岡悦子、川原央、菊池和也、木下雅文、楠瀬昌作、桑嶋正寛、後藤緑、小西裕美子、坂田貴之、櫻又浩、佐藤涼介、杉山洋子、高崎真治、高橋洋子、田澤克久、武内一、田中佳利、谷川修一、富田弘明、中村正則、西岡牧子、桢中玲子、平尾直子、平野郁子、福田陽一、細谷芳久、三澤浩司、溝渕祥民、三野禎男、宮崎真一、宮崎恵子、森和代、山口朝美、山田徹、山本博司、利藤房男、岡見吉規

昭五二 阿川昌仁、天野盛資、綾田智子、石川高英、市木研、伊藤尚、井上耕一、大島由加子、大塚康正、大森明子、岡史朗、小瀬木滋、亀山祥子、神崎俊、合地仁美、佐瀬龍次郎、佐藤麻由美、塩田昭弘、新名孝司、千野みゆき、高木佳美、高橋伸治、高橋由美、竹内明美、辻上敬子、富田久美子、永峰伸一、西山淳一、瀧川喜旦、林美千代、林充代、原内大作、藤澤一郎、北條ひとみ、米谷隆雄、松田欣未子、眞鍋裕司、三木武司、三島義之、溝内正康、三谷泰司、宮武礼子、宮脇誠、山田光一、吉田悟、和田晃尚、木村吉宏、五嶋孝博、多田羅衛二、丸吉洋子

昭五三 青木英晃、石原玲子、梅津裕美、河合哲夫、北山明彦、木村庸子、清谷守之、日下卓則、小谷景子、佐々木祥二、佐々木一乗、佐藤良二、鈴木佳代子、住山喜昭、十河裕之、十河千穂、高島寛之、竹内啓子、土居邦弘、徳田桂一、中井達郎、灘波博司、沼原利彦、馬場正子、藤本邦人、藤本幹子、籠泰紀、松岡貴之、松下節子、松原幸子、宮崎俊也、森森蔵、山口弘信、横山徹、吉川正美、渡辺裕之、池田義、関元直登

昭五四 青柳佳枝、浅蔭典男、穴吹久仁、安部忠明、石井浩之、石谷誠、今井万里子、植松紀子、大倉朗人、大出茂晴、大西宏明、大原昌樹、小椋由美、押野雅史、勝丸千晶、亀井智子、木村重之、熊澤毅彦、佐々木浩之、佐々木悟、佐藤哲也、島津昌代、新開里津子、助吉建彦、砂山豊宏、関谷利裕、多賀朱美、高岸浩子、高崎智子、高橋雅直、高橋道也、高橋佐知子、多田栄三江、鐵理代、豊澤徳子、長尾正樹、

中西良典、馬場哲也、藤澤明彦、藤澤佳子、藤澤伸子、豊後雅巳、細井恵美子、堀内政信、堀内尚子、槇野浩司、松延健二、の場陽子、眞鍋英男、水澤聖子、宮本浩美、森川一幸、山口裕視、山本一郎、横井健治、古本睦、RUTZ美香、渡辺稔、平尾宏

昭五五 秋山弘樹、秋山佳子、安宅比呂美、池田康彦、石濱英暢、植松浩美、亀井正好、亀井可奈子、木村りさ、楠瀬丈生、藏本美由紀、桑島洋子、香西新五、香西卓、小柳和代、志賀紀之、柴田周、白山正樹、杉ノ内謙三、砂山博子、高崎恭子、太山尊弘、出口一志、中尾都、中西徳彦、長町顯弘、永由美保子、能祖一裕、橋本三起子、秦敏博、廣瀬昌也、福家司、福家徹朗、藤本悦子、細川典宏、堀重美、松木聡司、松原敬子、眞鍋千恵、萬好都美恵、光岡美智代、三宅順子、山崎直樹、山田大介、吉田史枝、渡辺淳子

昭五六 秋山賢次、石岡邦章、石丸伊知郎、出射恵美子、内田雅仁、太田理、太田孝彰、岡谷史子、亀井英俊、菊池智津、櫛橋明彦、黒川実、小西英登、櫻又直美、佐々木晶子、佐藤今日子、清水善明、田中裕、田辺育子、西村仁則、藤田祐、藤本拓資、細井智代、三浦治、水本恵美子、三船司郎、三宅伸吾、八十川大輔、山本麻有里、吉鷹秀範、渡邊智子、渡邊浩一郎、山下敏子

昭五七 石濱琢央、石濱美子、伊藤菜穂子、井本康裕、岩井孝之、大出真由美、大西久宣、大林智彦、岡内眞一郎、門脇植人、河野哲哉、小島謙治、佐藤いずみ、佐藤みどり、新川洋司、多田幹明、出口理恵、土居享司、豊田英二、鳥居研志、永峰清美、南里正治、西村直子、羽野精一、馬場博史、治多伸介、松原真治、松本寿、松本泰則、溝内ゆかり、六車直樹、山崎裕子、横井徹、横田和伸、吉井敏浩、英旦

昭五八 荒川裕佳子、大西弘倫、加藤宏一郎、川井裕基、河西邦浩、小竹京子、佐藤扶美子、佐藤美里、佐藤久美子、鈴木朋子、十河聖司、高崎義久、多田俊昭、谷崎琴、樽谷美香、乃村公二、板東和彦、町田聡、三沢篤志、溝内哲也、三谷英信、三野靖、森真理、守谷牧子、八木裕史、山本幸則、山本雅子、吉岡義人

昭五九 池田誠、池田知子、稲毛幸一、北堀礼子、白石哲也、神内一郎、神内美都、高橋祥子、中筋功雄、中矢和広、平尾幹子、前田八州彦、山本真裕美、吉野聡宏

昭六〇 石河利広、石田英城、植村圭一、大西研至、大西亨、大林弘明、尾崎努、加藤琢二、川上由佳、業天恵美子、滝口信、多田義孝、中田智博、西尾徹、沼原紀子、細川典子、松原淳、三木重昌、森総子、山口真弘、山田晶一、吉田年秀、北條緑

昭六一 石川りか、大西晴子、加地美智子、上原靖弘、鴨居真理子、木村勇夫、久保誉一、小見山淳子、坂井美保、酒井佳代、笹井文仁代、多田康臣、田村智子、土居良助、萩池昌信、林秀樹、板東真由美、藤本千代、古川万里子、本多完次、本多英雄、前田圭見、増井佳子、松本弘司、向井恵、村尾仁、八木田佳樹、和田朝子、和田友樹

昭六二 荒木隆、石田茂登、伊藤雅久、大西朋子、岡部祐介、川田安都子、川西毅、川西紀子、喜田香代、葛原由起、河野仁治、曾我部豊、多田寿徳、多田孝一郎、辻正彦、土居晶子、長井雅子、中城久美、萩池淳子、馬場信行、原茂樹、別宮貴仁、松本智美、松本亜紀、山本佳世子、和田新治、渡辺将敬、松佐英明

昭六三 阿部博、飯尾美保、石原美保、入谷誠、岩崎和子、植村崇晴、梅岡達生、小栗直子、柏井雅博、川端桂子、木下晶、木村哲彦、葛原真由美、近藤健二、柿忠輝、高木早智子、宝田繁基、玉木雄一郎、佃英樹、東野一郎、西岡幸治、蓮井美奈子、羽田野麻理、林和英、久枝了、別宮欣暢、松原寛、三崎恵奈、宮脇幸子、村川哲也、八代田英樹、山下久美、山本岐香

陽子、古竹美奈、増井貴人、茂中芳佳、山本史郎、渡邊淑子、田淵薫

平三 伊賀彰子、伊藤香、井上靖志、入門美穂、上原直人、右近有花、岡本佐織、小川孝子、乙井美香、香川英俊、河田悦夫、佐藤公一、田中育太、田中誠也、田中茂登、筒井雅彦、常谷典生、豊島彩、槇郁子、増田浩城、三島史子、宮脇修三、村川祐介、森貞志、森布季、安原正浩、山下亮、渡邊克充、田中和昇

平四 青島裕子、伊藤祐子、岩部美紀、大須賀礼子、大森安代、小比賀賢、鎌田英紀、鎌田浩志、北泉秀樹、小嶋桂、小宮由利江、東野伸也、中野志保、名塚太二、幡鈴千景、藤田晋、二神雅史、間島徹、村川和也、山地貴子、芳重香奈

平五 上田香代、大西吉之、鎌田多紀、川井俊一、社本真紀、高尾真司、高濱均、中井裕史、西村雅子、藤川愛、村松大輔、森周一、矢田千枝、吉川明人、川東孝俊、樋口淳一郎

平六 印藤加奈子、岡知美、岡誠、鎌田恵子、川西章弘、小西賢亮、末澤宏哉、西稚子、西原千代、長谷川高誠、松浦麻矢、松本澄洋、溝渕純子、安田仁、山上佳樹、山口潤、山下晃弘、山下正幸、間嶋都世

陽子

平七 井川早都子、梅田智子、大谷祐生、岡田里

平八 井関龍太、大橋邦啓、小川竜司、小田原亮、

平九 伊藤寛子、太田裕人、大森裕子、川畑里佳、

高橋早都子、戸阪匡博、濱川昌延、堀川昌宏、向井大輔、塩田浩子

平二一 大美智敬、岡尚人、小笠原恵、岡田知美、久保太郎、厚井志郎、佐藤崇裕、藤澤衛、森岡真梨、安田哲

平二二 池上勝哉、糸瀬ふみ、井上雅世、大澤健二郎、太田貴也、岡田誠一、駒井健二郎、榎藤宏美、佐藤碧、田尾誠、谷岡弘邦、常谷紗己、中川さや子、長谷川博紀、福井裕介、森田浩之、八十川豊、山本真理子

平二三 石原ゆかり、岸下定弘、児山浩崇、笹島幹広、大黒翔太、永井美智子、日詰まいこ、福田香代子、三木雅登、宮城麻友、向井健二郎、八尾祉顕、淀谷光子、秋山宗徳、上田昇

平二四 池内陽一朗、伊藤謹民、漆原慎司、江崎秀人、大熊裕貴、岡田卓巳、岸川俊大、榎藤智之、佐々木崇徳、神野敬祐、高橋彩子、高濱隆幸、千葉一孝、中山且、藤澤純平、宮本詩子、森正憲、有原増美

平二五 明石瑛美子、木村慧、厚井依子、佐伯太郎、多田彩乃、田村祐一、田村勇典、富田諒太郎、原田芳宏、樋口篤、松浦毅士、松家絵美、森田康之

平一六 赤澤和之、秋本有美、入船利彦、葛西優、高橋航大、富田昌平、中辻早希子、橋本義規、藤田洋志、松岡正之、山ノ井基広、津川沙織、坂東真、平井アヤ子

平一七 大下俊樹、桂嘉宏、木村圭一、佐藤雅之、柴田郁、長谷川博之、福井雅一、堀川知紀、松岡加奈子、宮本崇平、村尾圭介、和田圭伊子、池内一治

平一八 荒川美奈、入谷優、菅原佳奈、楠瀬達也、久保圭一、久保友次郎、小林俊博、笹島正豊、関満晃、田窪朋広、多田敦雄、田中均樹、富田洋輔、中川佳洋、中山由実、西山由理花、野口知里、前田詠理、溝渕泰隆、宮崎沙月、元山美希、森裕昭

平一九 井上宏亮、植松慎一郎、岡本裕子、中条匡臣、土岐芳寛、永峰優一、馬場翔太郎、藤澤範子、藤澤友輝、藤本達也、前田雅美、槇塚英治、松本美都

平二〇 川原一晃、香西真道、佐藤万里奈、佐藤悠奈、関元由紀、田川良和、田中里沙、谷美里、西牧

正博、野口佑太、平野裕太郎、吉田勇人、和田学政、尾崎友合子

平二一 青木咲貴、青木仁美、安岐智晴、池西大起、門田浩史、久詰修平、多田晋、津村和輝、土岐有美子、中川裕貴、中村清太郎、馬場真理子、元山佳奈、山下泰啓

平二二 小原和花、鎌倉瑞基、川口祐貴子、木村智美、後藤由衣、櫻又由伽子、佐藤哲人、塩入愛美、谷勇輝、戸嶋圭、八村良祐、平野旺周、廣瀬友基、藤澤智子、藤本卓也、増島祥、宮崎翔平、森光太郎、山田佳明、横井茉莉、吉原佳、池添治、松川万須美

平二三 植田貴久、大出小夜子、大原壮一、大森真理、岡内啓悟、岡田直之、川西真明、楠瀬智己、香西健太郎、佐藤伊純、多田有輝子、乃村勇輝、長谷川力、松岡美玖、森下量平、山野上舞、吉田沙織、渡邊二朗、渡邊修也

平二四 井手うらら、岩間弓奈、岡奈々恵、河田祐太郎、佐藤夏実、関侑華、高橋明音、辻曉里、坂東秀人、藤本みち、細谷泰祐、堀光毅、松下恵介、吉田満利恵、和田彩花

平二五 石濱佐和子、岡田あずさ、鎌野まどか、桑城亜裕子、小出英南子、谷村一成、平野晴、廣瀬元基、前田喬広、松岡萌恵、森田夏帆、保田祐輝、山野上実希

平二六 相場佑莉、安藤さおり、石丸弘之、宇佐見天慧、靱慶太、岡祐一朗、喜田壮士郎、北山由紀乃、河野雅子、徳武直、松本咲、美馬章宏

平二七 池田彬人、大川慎太郎、大谷勇樹、大出洗起、佐藤聡太、谷和樹、原田智行、榎木優美香、吉田真優、藤澤良太、吉野千秋

平二八 池田奈々子、石濱加彌子、太巻侑香、靱眞澄、大谷明絵、大西智、岡崎律道、奥田喬一、尾端輔、久保一毅、河野詢平、坂本亮、彈正原昌也、中西凌河、藤原拓未、松岡秀悟、松田悠暉、溝口弘也、森春菜、山崎満里加、吉峰広貴、渡邊蘭

平二九 麻田恭大、安藤桃子、石丸真子、植田将暉、葛西大浄、川西祐毅、喜田よつ葉、木下純一、葛原寛子、久米瑞樹、佐藤健斗、佐藤光起、苑田千央、多田真理子、田中紗弥加、出口和希、乃村夏愛、林

莉穂、三宅沙弥、茂中航、山下佳乃、山本黎、吉田夏穂、渡辺由洋

平三〇 浅原悠希、芦田一真、石川凌大、岩出大輔、大内一慶、大西泰生、岡内紀翔、菊井拓斗、隈川怜、高木直哉、瀧川圭太、竹内まり子、玉木献人、太山賀珠人、十枝航太、鳥養武弘、中西三春、中村仁、平尾悠里子、三澤一織、六車凌、山崎裕里加、渡邊沙羽、權日豊美、牧井幸一

平三一 青木章真、青野光起、伊澤利果子、石田公平、川田龍輔、近藤大翔、坂口栞大、末光涼児、砂崎慎之介、千切谷将一朗、千葉勇渡、坪川龍聖、土居孝高、梨野勝己、蓮井祐樹、前谷颯太、増田麻夢、松浦彪、松下直人、三宅奈都、吉田美穂、池内善美、余島彩華、稲月新

令 二 板倉直輝、大西晴日、小川陽生、門田光輝、兼光佑輔、川端敦仁、菊井奏依、河野華子、澤田杏華、田辺歩夢、寺岡葵、濱龍正、藤井香乃、細井心平、松岡太一、松澤巧貴、松原一樹、水野琳太郎、美馬由布子、藪内結海、山本陽基、世俵駿、岩橋静公

令 三 揚悠、安藤恵利花、池田早百合、石川裕大、石原志朗、伊藤舞、植田詩穂、大眉統希、奥条真那、小原悠華、角優貴、鎌田元氣、木村彰人、黒川佳菜、河野純平、近藤優衣、新川武尊、須藤真緒、関谷林蔵、田中仁、田中大梧、坪川駿祐、中西明、西原なずな、西山瑠見菜、藤井創大、星川ひかる、三谷知蔵、宮武桜子、六車匠史、村上稜真、村川岳人、山北七夕、山口明理、山本悠仁、湯淺俊介、渡邊柊、平田悠登、津村佳奈

令 四 綾田龍人、伊藤蒼良、牛田康太、遠藤彬乃、大西優祐、岡美晴、岡本彩花、岡本千奈、加藤天晴、川西未菜、菊澤美咲、岸下龍乙、河野息利、酒井菜摘、坂口碧、篠原大和、土居尚志、富田さくら、豊田美玖、西尾仁徳、西山雅春、濱岡拓光、平岡未羽、平野沙也加、舟橋裕紀、細川和暖、増田峻吾、松浦鳳、松下咲紀、六車圭、本山律、森田諒大、山口翔真、山田一華、芳重光、米本咲貴

令 五 石原陽太、一原優奈、岩瀬優基、大熊千尋、監崎良太、小西竜生、三枝春音、三枝諒太、櫻井美

空、清水玲那、高尾結衣、高木叶華、高木壮彦、高塚絢湖、千切谷太翼、二宮凜、根岸朋希、濱雪乃、引田望、土方優輝、平井愛美、福家穂高、藤井苺叶、藤尾西風、堀竜輝、眞鍋湜、丸山莉紗、溝口綾菜、溝渕莉紗、三好勇輔、湯淺菜々子、渡邊千晶、安並天音

令和四年度会費 納入者(令和五年五月一日以降入金)

晩 翠

昭二四(女子高) 水野綾子

高 高

昭三二 木島京子

昭三三 植松俊彦

昭三六 和波保

昭四一 杉上彰、谷原朱美

昭四五 伊勢明人

昭五九 阿倍博信

昭六二 竹川忠克

昭六三 竹川由美子

平 七 杉上景子

令 二 藤井香乃、山下倫宏

令 四 佐藤美鈴、溝口賢信

会費のお支払いに 口座自動振替がご利用できるようになりました

玉翠会員の皆様の指定預金口座から、毎年自動で会費がお振替出来るようになりました。
窓口やコンビニに出向くことなく、また、お振込忘れも防ぐことができます。

振替日 **9月27日（銀行等、金融機関休業日の場合は翌営業日）**

《《 お申込みまでの流れ 》》

STEP 1 同封の「預金口座振替依頼書」に黒のボールペンで、太枠内をもれなくご記入、
ご捺印します。



STEP 2 「預金口座振替依頼書」を高松高等学校玉翠会事務局までご送付ください。

【あて先】 〒760-0017
香川県高松市番町三丁目1番1号
香川県立高松高等学校玉翠会事務局 宛

【ご記入にあたっての注意事項】

1. 押印は金融機関届出印をお願いいたします。不鮮明の場合は再提出をお願いする場合もございますので、ご注意ください。
2. 預金者名はフリガナも必ずご記入ください。
3. お引落し額をご記入ください。（会費は一口2,000円からとなっております）
4. ご記入いただいた預金口座振替依頼書はコピーをとり、控えとしてご自身にて大切に保管ください。
5. ご登録完了のご連絡はございません。書類に不備がなければ、8月5日（事務局着）までにご依頼の方は当年度の会費より、それ以降にご依頼された方は次年度の会費より自動お振替開始になります。
6. 通帳摘要欄には、「ギョクスイカイヒ」と印字されます。なお、一部金融機関では「ワイドネット」（ゆうちょ銀行）または「ミツビシUFJファクター」と印字されます。

玉翠会会費の納入にご協力ください

1 口 2,000 円より (支部会費とは別になります)

毎年の会費納入ありがとうございます

同窓会活動は、主に卒業生の皆さまより納めていただいている会費で運営されています。玉翠会運営費や会報発行の他に、在校生への奨学金制度・教育活動補助などに活用させていただきます。

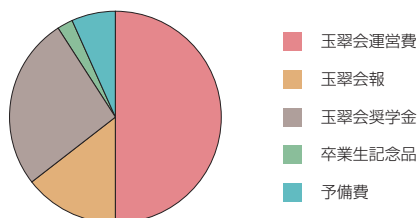
近年の少子化による生徒数の減少で同窓会の財源も厳しい状況におかれています。是非多くの方々に玉翠会費納入のご協力をお願いします。

また、年に 1 回、10 月末現在の会費納入者一覧をホームページに掲載しています (11 月中旬頃掲載予定)。ご自身で当年度の会費を納入されたかどうかをご確認することができます。

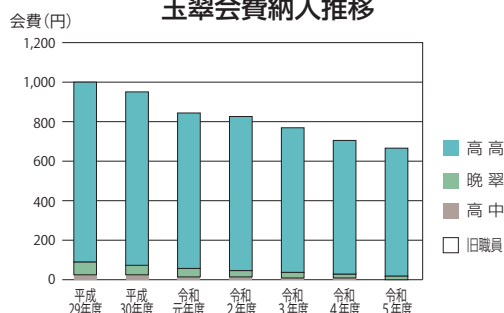
ホームページトップ画面右下の、「卒業生限定コンテンツ」バナーよりお入りください。

卒業生限定コンテンツパスワード
gyokusuikai1950

会費の運用



玉翠会費納入推移



納入方法は以下の 5 種類

1. 預金口座から自動振替

同封の「預金口座振替依頼書」にご記入いただき玉翠会事務局までご郵送ください。
※詳細は 19 頁をご参照ください。

振替日 9 月 27 日 (銀行等、金融機関休業日の場合は翌営業日)

2. 郵便局からお振込

同封の郵便局用払込用紙にてお振込ください。

3. コンビニ (またはスマホ決済) からお振込

同封のコンビニ用振込用紙にてお振込ください。

4. クレジットカード決済 (PayPal) にてお支払い

玉翠会のホームページをご参照ください。

5. その他金融口座からお振込

ゆうちょダイレクトの電信振替でゆうちょ銀行口座へ送金、また他の金融機関からも下記の口座へお振込が行えます。振込手数料は各自ご負担願います。

入金処理の際は、必ず 6 桁の会員番号を振込人氏名の前に打電してください。納入者を特定出来ない場合は「納入者不明」としてご入金させていただきます。

例) 1 2 3 4 5 6 タカマツタロウ

口座名義: 香川県立高松高等学校玉翠会

口座番号: ゆうちょ銀行 一六九 (イチロクキュウ) 店 (169) 当座 0031115

百十四銀行 本店 普通 0078326

※会費を納入いただいた会員の方には、会報発行時期になりましたら玉翠会報、または Web 版閲覧用パスワードをお送りいたします。

詳しくはこちら: 玉翠会ホームページ「年会費納入のお願い」

<https://gyokusui.org/kaihi>

